

8

⑧シーリング

防水改修工事

9

とい

10

7mm以上製笠木

4-2

ひび割れ部改修工法

コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事

4-3

モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

4-4

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-5

塗り仕上げ外壁改修工事

4-6

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-7

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-8

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-9

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-10

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-11

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-12

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-13

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-14

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-15

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-16

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-17

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-18

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-19

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-20

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-21

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-22

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-23

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-24

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-25

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-26

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-27

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-28

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-29

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-30

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-31

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-32

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-33

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-34

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-35

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-36

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-37

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-38

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-39

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-40

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-41

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-42

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-43

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-44

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-45

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-46

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-47

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-48

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-49

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-50

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-51

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-52

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-53

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-54

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-55

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-56

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-57

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-58

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-59

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-60

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-61

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-62

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-63

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-64

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-65

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-66

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-67

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-68

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-69

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-70

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-71

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-72

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-73

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-74

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-75

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-76

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-77

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-78

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-79

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-80

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-81

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-82

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-83

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-84

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-85

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-86

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-87

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-88

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-89

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-90

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-91

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-92

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-93

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-94

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-95

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-96

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-97

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-98

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-99

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-100

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-101

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-102

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-103

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-104

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-105

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-106

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-107

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-108

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-109

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-110

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-111

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-112

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-113

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-114

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-115

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-116

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-117

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-118

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-119

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-120

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-121

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-122

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-123

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-124

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-125

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-126

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-127

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-128

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-129

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-130

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-131

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-132

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-133

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-134

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-135

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-136

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-137

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-138

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-139

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-140

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-141

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-142

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-143

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-144

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-145

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-146

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-147

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-148

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-149

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-150

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-151

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-152

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-153

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-154

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-155

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-156

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-157

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-158

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-159

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-160

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-161

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-162

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-163

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-164

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-165

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-166

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-167

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-168

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-169

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-170

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-171

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-172

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-173

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-174

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-175

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-176

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-177

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-178

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-179

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-180

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-181

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-182

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-183

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-184

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-185

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-186

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-187

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-188

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-189

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-190

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-191

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-192

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-193

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-194

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-195

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-196

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-197

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-198

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-199

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-200

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-201

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-202

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-203

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-204

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-205

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-206

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-207

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-208

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-209

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-210

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-211

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-212

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-213

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-214

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-215

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-216

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-217

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-218

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-219

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-220

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-221

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-222

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-223

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-224

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-225

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-226

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-227

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-228

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-229

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-230

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-231

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-232

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-233

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-234

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-235

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-236

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-237

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-238

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-239

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-240

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-241

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-242

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-243

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-244

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-245

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-246

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-247

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-248

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-249

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-250

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-251

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-252

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-253

タイル張り仕上げ外壁改修工事

4-254

タイル張り仕上げ外壁改修工事

8

鋼製軽量建具
(標準型鋼製軽量
建具を含む)

9

ステンレス製建具

10

木製建具

11

建具用金具

12

自動ドア開閉装置

13

自閉式上吊り
引戸装置

14

重量シャッター

15

軽量シャッター

16

オーバーヘッドドア

17

ガラス

18

ガラス留め材

簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による

[5. 5. 2][5. 5. 6]

鋼板類の種類

[5. 5. 3]

・亜鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・カーボン鋼板

・ステンレス鋼板

簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による

[5. 4. 2][5. 6. 2][表5. 4. 1]

外部に面する建具の耐風圧性

[5. 4. 2][5. 6. 2][表5. 2. 1]

・S-4

・S-5

・S-6

かまち戸の樹種

かまち()

鏡板()

(16. 7. 2)

ふすまの種類

・Ⅰ類

・Ⅱ類

(表16. 7. 3)

ふすまの上張り

※新鳥の子又はビニル紙程度

・鳥の子

(表16. 7. 3)

ふすまの縁の仕上げ

・塗り縁

・生地縁

(表16. 7. 10)

マスター

・製作する(本)

※製作しない

[5. 7. 4]

鍵札数量

※錠前1組に2枚とする

・錠前1組に1枚とする

かぎ箱

市販品

形式

・30組用

・60組用

・120組用

・

自動ドアの開閉機構

[5. 8. 3][表5. 8. 4]

開閉方法

引き戸用検出装置の種類

※スイングドア

・電子モトスイッチ

・タッチスイッチ

※光線(反射)センサー

・スイングドア

・音波センサー

・熱線センサー

・光電センサー

・押しボタンスイッチ

・多機能ディスプレイスイッチ

凍結防止措置

※行わない

・行う()

[5. 8. 3]

※適用する(適用建具及び適用位置は図示による)

[5. 9. 1]

外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m²

[5. 10. 2]

開閉機能

※上部電動式(手動併用)

・上部手動式

[5. 10. 2][表5. 10. 1]

二重ファーン、急降下制動装置、急降下停止装置等

を設けた電動シャッターの

[5. 10. 2]

設置箇所

・図示

・

障害物感知装置

を設けた電動シャッターの設置箇所

・図示

・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

・設ける(設置箇所：・図示

・)

[5. 10. 2]

一般重量シャッターのシャッターケース

※設ける

・設けない

開閉形式

※手動式

・上部手動式(手動併用)

[5. 11. 2][表5. 11. 1]

外部に面するシャッターの耐風圧強度() N/m²

[5. 11. 2]

スラット

厚さ(mm)

・0.5

・0.6

・0.8

・1.0

[表5. 11. 2]

材質

※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯

[5. 11. 3]

形状

※インボウキング形

・オーバークラッキング形

[5. 11. 4]

ガイドレール等

※鋼板製

・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)

[表5. 11. 2]

シャッターケース

厚さ(mm)

・0.4

・0.8

[表5. 11. 2]

セクション材料

開閉方式

収納形式

ガイドレール

※スチールタイプ

※アルミニウムタイプ

・ファイバーグラスタイプ

※バラン式

・チェーン式

・電動式

・スタンダード形

・ローヘッド形

・ハイフ形

・ハイチカル形

※溶融亜鉛めっき鋼板

※ステンレス鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分

・50

・75

・100

・125

[5. 12. 2]

下記以外は、建具表による

[5. 13. 2]

・合わせガラス

特性による種類

※Ⅱ-1類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類

特性による種類

・フロート強化ガラス

Ⅲ類(曲面はⅠ類)

・型板ガラス

熱線吸収ガラス

材料板ガラスによる種類

色調

・熱線吸収フロート板ガラス

・ブルー

・グレー

・ブロンズ

・グリーン

・熱線吸収網入り磨き板ガラス

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

・建具表による耐熱性による区分

・T1

・T2

・T3

・T4

・T5

・T6

日射取得性、日射逓へ性による区分

・G

・S

乾燥気体の種類

・空気

・

熱線反射ガラス

品質

反射皮膜面

材料板ガラスの種類

映像調整

※熱線反射ガラス

※内面

・外面

・フロート板ガラス

※行わない

・高性能熱線反射ガラス

・内面

・熱線吸収フロート板ガラス

・行う

・強化ガラス

・倍強度ガラス

倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称

色調

※フロート倍強度ガラス

・グレー

・ブルー

・ブロンズ

・

熱線吸収倍強度ガラス

建具の種類

種類

アルミニウム製及び樹脂製

・シーリング材

※ガラスカット(FIX部はシーリング材)

鋼製及び軽量鋼製

※シーリング材

ステンレス製

※シーリング材

ガラスの積み

[5. 13. 2][表3. 7. 1]

表面仕上げ

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げの種類

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置

※ステンレス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。

・図示

6 木下地等

[6. 5. 1][表6. 5. 2]

表面仕上げ

適用箇所

機械加工

・A種

・B種

・C種

手加工

・H-A種

・H-B種

・H-C種

ガラス用フィルム

[6. 1. 2]

1 基本要品質

[6. 1. 2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のモルタルの放散量はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

[6. 1. 3]

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

3 施工数量調査

[1. 5. 2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチック、ボード等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さや壁面に図示する。

モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・カー工法による床・壁・天井改修箇所の下地材

調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

[6. 2. 2]

・ビニル床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地モルタルとも(※図示の範囲)

・行わない(※図示の範囲)

5 既存壁の撤去並びに下地補修

[6. 3. 2][4. 4. 9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修

※図示

・[4. 4. 9]モルタル塗替え工法

内装改修工事	6 21 吸音材	<div>[表6.13.1]</div> <table><tr><th>種 類</th><th>記 号</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・ ロックウール吸音ボード1号</td><td>RW－B</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>※グラスウール吸音ボード32K</td><td>GW－B</td><td>※25 ・</td></tr></table>	種 類	記 号	厚さ(mm)	・ ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25 ・	※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25 ・	6 30 階段手すり	<table><tr><th colspan="2">種 類</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td colspan="2">※集成材クリヤック仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・ ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・</td><td></td></tr></table>	種 類		施工箇所	※集成材クリヤック仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)			・ ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)			・			6 41 屋内掲示板	<table><tr><th>改修工法</th><th>枠の材質</th><th>表面の材質</th><th>下地</th></tr><tr><td>・ かぶせ工法</td><td>※アルミ製</td><td>※特殊発泡ビニル張り</td><td>・ 図示による</td></tr><tr><td>・ 撤去工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	改修工法	枠の材質	表面の材質	下地	・ かぶせ工法	※アルミ製	※特殊発泡ビニル張り	・ 図示による	・ 撤去工法	・	・	・	7 11 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	<div>[7.11.2][表7.11.1]</div> <table><tr><th colspan="2">塗 替 え の 場 合</th><th>新規塗りの種別</th></tr><tr><td>下地調整</td><td>塗替えの種別</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>RB 種の場合</td><td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td>下地調整は表の注意書きによる</td></tr></table>	塗 替 え の 場 合		新規塗りの種別	下地調整	塗替えの種別	・ A 種 ※B 種	RB 種の場合	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	下地調整は表の注意書きによる																																																																																																																				
	種 類	記 号	厚さ(mm)																																																																																																																																																																			
	・ ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25 ・																																																																																																																																																																			
	※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25 ・																																																																																																																																																																			
	種 類		施工箇所																																																																																																																																																																			
	※集成材クリヤック仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)																																																																																																																																																																					
	・ ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)																																																																																																																																																																					
	・																																																																																																																																																																					
	改修工法	枠の材質	表面の材質	下地																																																																																																																																																																		
	・ かぶせ工法	※アルミ製	※特殊発泡ビニル張り	・ 図示による																																																																																																																																																																		
・ 撤去工法	・	・	・																																																																																																																																																																			
塗 替 え の 場 合		新規塗りの種別																																																																																																																																																																				
下地調整	塗替えの種別	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																				
RB 種の場合	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	下地調整は表の注意書きによる																																																																																																																																																																				
22 壁紙張り	<div>[6.14.2]</div> <table><tr><th colspan="5">壁 紙 の 種 類</th><th rowspan="2">防火性能の級別</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>施工箇所</th><th>紙製</th><th>織物</th><th>ビニル</th><th>化学繊維</th><th>無機質</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃・準不燃・難燃</td><td></td></tr></table> <div>モルタル、プーラー面等の下地調整 [6.14.3][7.2.5][7.2.6][表7.2.4][表7.2.5] ※RB種 ・ RA種(施工箇所：) せつこうボード面の下地調整 [6.14.3][7.2.7][表7.2.7] ※RB種 ・ RA種(施工箇所：)</div>	壁 紙 の 種 類					防火性能の級別	備 考	施工箇所	紙製	織物	ビニル	化学繊維	無機質		・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		31 黒板及びホワイトボード	<div>(20.2.8)</div> <table><tr><th>種類</th><th>区分</th><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 黒板</td><td>※焼付け ・</td><td>・ 鋼製 ・ ほうろう</td><td></td><td>※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分</td></tr><tr><td>・ ホワイトボード</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td>※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分</td></tr></table>	種類	区分	種類	寸法(mm)	備 考	・ 黒板	※焼付け ・	・ 鋼製 ・ ほうろう		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分	・ ホワイトボード	・	・		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分	42 しっくい塗り	<div>※施工箇所</div> <table><tr><th>室 名</th><th>部 位</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> <div>※左官業者 新潟県左官業協同組合(平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。)主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。 ※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法 使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。 上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」による。</div>	室 名	部 位					12 クレタ樹脂フィス塗り(UC)	<div>塗替えの種別</div> ・ A 種 ※B 種 <div>[7.12.2][表7.14.1]</div> <div>新規塗りの種別</div> ・ A 種 ※B 種	13 オイルフィス塗り(OS)	<div>[7.13.2][表7.13.1]</div> <table><tr><th colspan="2">適 用 箇 所</th><th>塗 料</th></tr><tr><td>・</td><td>・ 油性 ・ 水性</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・ 油性 ・ 水性</td><td></td></tr></table>	適 用 箇 所		塗 料	・	・ 油性 ・ 水性		・	・ 油性 ・ 水性		14 木材保護塗料塗り(WP)	<div>塗替えの種別</div> ・ A 種 ※B 種 <div>[7.14.2][表7.14.1]</div> <div>新規塗りの種別</div> ・ A 種 ※B 種																																																																																																
壁 紙 の 種 類					防火性能の級別	備 考																																																																																																																																																																
施工箇所	紙製	織物	ビニル	化学繊維			無機質																																																																																																																																																															
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																
種類	区分	種類	寸法(mm)	備 考																																																																																																																																																																		
・ 黒板	※焼付け ・	・ 鋼製 ・ ほうろう		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分																																																																																																																																																																		
・ ホワイトボード	・	・		※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分																																																																																																																																																																		
室 名	部 位																																																																																																																																																																					
適 用 箇 所		塗 料																																																																																																																																																																				
・	・ 油性 ・ 水性																																																																																																																																																																					
・	・ 油性 ・ 水性																																																																																																																																																																					
23 モルタル塗り	<div>[6.15.3]</div> <div>モルタル ・ 現場調合材料 (セメントは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による) ・ 既調合材料 既製目地材 ※適用しない ・ 適用する(形状は図示による) [6.15.3] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 [6.15.5][4.4.9] ・</div>	32 室名札	<div>(20.2.10)</div> <table><tr><th>材 種</th><th>寸法(mm)</th><th>突出型</th><th>面付型</th><th>文字形式</th><th>受 金 具</th></tr><tr><td>※塩化ビニル製</td><td>※260×80×5</td><td>ケ所</td><td>ケ所</td><td>・ 文字書込み</td><td>※ステンレス(SUS304)</td></tr><tr><td>・ アクリル樹脂製</td><td>・</td><td>ケ所</td><td>ケ所</td><td>・ 文字彫込み</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 県産杉板材</td><td>※260×80×12</td><td>ケ所</td><td>ケ所</td><td>・ カッティングシート</td><td></td></tr></table>	材 種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具	※塩化ビニル製	※260×80×5	ケ所	ケ所	・ 文字書込み	※ステンレス(SUS304)	・ アクリル樹脂製	・	ケ所	ケ所	・ 文字彫込み	・	・ 県産杉板材	※260×80×12	ケ所	ケ所	・ カッティングシート		7 ① 塗装業者	◎(社)日本塗装工業会の会員 ◎監督員の承諾する業者	8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事	<div>[8.1.3][表8.1.1]</div> <div>レディーミクストコンクリートの類別</div> <div>※Ⅰ類 ・ Ⅱ類</div> <div>普通コンクリートの設計基準強度</div> <div>[8.1.3][8.1.4]</div> <div>設計基準強度Fc(N/mm²)</div> <table><tr><td>適 用 箇 所</td><td>スランプ</td></tr><tr><td>※24</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> <div>コンクリートの仕上りの平たんさ</div> ・ a種 ・ b種 ・ c種 <div>[8.1.4][表8.1.5]</div>	適 用 箇 所	スランプ	※24	・	・	・	・	・	2 鉄筋の種類	<div>[8.2.1][表8.2.1]</div> <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼 び 名 (mm)</th></tr><tr><td>・ S D 2 9 5 A</td><td>・ D 1 6 以下</td></tr><tr><td>・ S D 3 4 5</td><td>・ D 1 9 以上</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼 び 名 (mm)	・ S D 2 9 5 A	・ D 1 6 以下	・ S D 3 4 5	・ D 1 9 以上	・		3 あと施工アーク	<div>[8.2.4]</div> <div>あと施工アークの材料 ・ 金属拡張アーク ※接着系アーク カギの種別 ※有機系</div>	4 セメントの種類	<div>[8.2.5][表8.2.3]</div> <div>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フリーアークセメントA種 ・ 普通エコセメント ・ 高炉セメントB種 () 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。<table><tr><td>水和熱</td><td>7 d</td><td>352J/g以下</td></tr><tr><td></td><td>2 8 d</td><td>402J/g以下</td></tr></table></div>	水和熱	7 d	352J/g以下		2 8 d	402J/g以下	5 骨材の品質	<div>[8.2.5]</div> <div>アルカリ反応性による区分 ・ A ※B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³)</div>	6 混和材料の種別	<div>[8.2.5]</div> <div>※混和剤 ・ 混和材</div>	7 鉄筋の継手	<div>[8.3.4][表8.3.3]</div> <div>※重ね継手 ・</div>	8 鉄筋の最小かぶり厚さ	<div>[8.3.5][表8.3.6]</div> <div>最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 ・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。<table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>改修仕様表8.3.6の値に加える寸法(mm)</th></tr><tr><td>柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面</td><td>※10 ・</td></tr></table></div>	施 工 箇 所	改修仕様表8.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10 ・	9 鉄骨の工作図	<div>[8.13.2]</div> <div>高力ボルト及び普通ボルトの端部距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による ・ 図示</div>																																																																																													
材 種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具																																																																																																																																																																	
※塩化ビニル製	※260×80×5	ケ所	ケ所	・ 文字書込み	※ステンレス(SUS304)																																																																																																																																																																	
・ アクリル樹脂製	・	ケ所	ケ所	・ 文字彫込み	・																																																																																																																																																																	
・ 県産杉板材	※260×80×12	ケ所	ケ所	・ カッティングシート																																																																																																																																																																		
適 用 箇 所	スランプ																																																																																																																																																																					
※24	・	・																																																																																																																																																																				
・	・	・																																																																																																																																																																				
種類の記号	呼 び 名 (mm)																																																																																																																																																																					
・ S D 2 9 5 A	・ D 1 6 以下																																																																																																																																																																					
・ S D 3 4 5	・ D 1 9 以上																																																																																																																																																																					
・																																																																																																																																																																						
水和熱	7 d	352J/g以下																																																																																																																																																																				
	2 8 d	402J/g以下																																																																																																																																																																				
施 工 箇 所	改修仕様表8.3.6の値に加える寸法(mm)																																																																																																																																																																					
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10 ・																																																																																																																																																																					
24 タイル	<div>[6.16.3]</div> <table><tr><th colspan="8">タイルの種類</th><th>備 考</th></tr><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>あり なし</th><th>施 釉</th><th>無 釉</th><th>役 物</th><th>色</th><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> <div>タイルの試験張り ※行わない ・ 行う [6.16.3] タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う [6.16.3] コンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 [6.16.3] 壁タイル張りの工法 [6.15.5][表6.16.4][表6.16.6] 内装タイル ※タイル接着剤張り ・ 積上げ張り</div>	タイルの種類								備 考	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	あり なし	施 釉	無 釉	役 物	色				・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	34 プライントックス及びカーテンボックス	<div>[5.1.6]</div> <div>・ 既存再使用する ・ 新設する ※市販品(アルミニウム製 押出し型材) <table><tr><th>使 用 区 分</th><th>溝幅×深さ(mm)</th></tr><tr><td>・ 横形プライント</td><td>※90×150 ・ 120×150 ・</td></tr><tr><td>・ 縦形プライント</td><td>※120×80 ・ 150×80 ・</td></tr><tr><td>・ カーテン(又はレース共)</td><td>※150×80 ・ 180×80 ・</td></tr><tr><td>・ カーテン+横形プライント</td><td>※180×150 ・</td></tr></table> 色彩 ・ B－1 ・ B－2 (・ プラック系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ 図示</div>	使 用 区 分	溝幅×深さ(mm)	・ 横形プライント	※90×150 ・ 120×150 ・	・ 縦形プライント	※120×80 ・ 150×80 ・	・ カーテン(又はレース共)	※150×80 ・ 180×80 ・	・ カーテン+横形プライント	※180×150 ・	7 ② 材料	屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。 <div>[7.1.3]</div>	2 鉄骨の改修工事	<div>[7.2.1～7.2.7]</div> <table><tr><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・ RA 種</td><td>・ 図示による</td></tr><tr><td>※RB 種</td><td>※RA 種、RC 種以外の全て(内部) ・ 図示による</td></tr><tr><td>・ RC 種</td><td>・ 図示による</td></tr></table> <div>既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～表7.2.6] ※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による) ・ 行わない</div>	種 別	施 工 箇 所	・ RA 種	・ 図示による	※RB 種	※RA 種、RC 種以外の全て(内部) ・ 図示による	・ RC 種	・ 図示による	④ 錆止め塗料塗り	<div>[7.3.2][7.3.3][表7.3.1]～[表7.3.4]</div> <table><tr><th>下地の種類</th><th>錆止め塗料の種別</th><th>塗替えの種別</th><th>新規塗りの種別</th></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※A 種 ・ B 種</td><td>・ A 種 ・ B 種</td><td>見掛けり部分 ※A 種 ・ B 種 見隠れ部分 ・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td>・ A 種 ・ B 種 ※C 種</td><td>新規鋼製建具等※A 種 ・ B 種 その他 ・ A 種 ※B 種</td></tr></table>	下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別	鉄鋼面	※A 種 ・ B 種	・ A 種 ・ B 種	見掛けり部分 ※A 種 ・ B 種 見隠れ部分 ・ A 種 ※B 種	亜鉛めっき面	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	・ A 種 ・ B 種 ※C 種	新規鋼製建具等※A 種 ・ B 種 その他 ・ A 種 ※B 種	5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	<div>[7.4.3]～[7.4.5][表7.4.1]～[表7.4.3]</div> <table><tr><th colspan="2">下地の種類</th><th>塗替えの種別</th><th>新規塗りの種別</th></tr><tr><td>木部</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>・ A 種 ・ B 種</td><td>下地調整は各表の注意書きによる</td></tr><tr><td>鋼製建具</td><td>※亜鉛めっき面</td><td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td>※A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>その他</td><td>※亜鉛めっき面</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>※A 種 ※B 種</td></tr></table>	下地の種類		塗替えの種別	新規塗りの種別	木部	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ・ B 種	下地調整は各表の注意書きによる	鋼製建具	※亜鉛めっき面	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	※A 種 ※B 種	その他	※亜鉛めっき面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	※A 種 ※B 種	6 クリヤック塗り(CL)	<div>[7.5.2][表7.5.1]</div> <table><tr><td>塗替えの種別</td><td>・ A 種 ※B 種</td><td></td></tr><tr><td>新規塗りの種別</td><td>・ A 種 ※B 種</td><td></td></tr></table>	塗替えの種別	・ A 種 ※B 種		新規塗りの種別	・ A 種 ※B 種		7 アクリル樹脂系非水分散系塗料(NAD)	<div>[7.7.2][表7.7.1]</div> <table><tr><th>下地の種類</th><th>工程等</th><th>塗替えの種別</th><th>新規塗りの種別</th></tr><tr><td>コンクリート、モルタル面等</td><td>下地調整 ・ RA 種 ※RB 種 ・ RC 種</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>「塗料その他の」欄による</td></tr></table>	下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別	コンクリート、モルタル面等	下地調整 ・ RA 種 ※RB 種 ・ RC 種	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	「塗料その他の」欄による	⑧ 耐候性塗料塗り(DP)	<div>[7.8.2]～[7.8.4][表7.8.1]～[表7.8.3]</div> <table><tr><th>下地の種類</th><th>塗替えの種別</th><th>新規塗りの種別</th><th>上塗り</th></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td>※A 種</td><td>・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A 種 ○B 種 ・ C 種</td><td>※A 種</td><td>○1 級 ・ 2 級 ・ 3 級</td></tr><tr><td>コンクリート面及び押出成形セメント版面</td><td>・ A－1 種 ・ A－2 種 ・ B－1 種 ・ B－2 種 ・ C－1 種 ・ C－2 種</td><td>・ A－1 種 ・ B－1 種 ・ C－1 種</td><td></td></tr></table>	下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り	鉄鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	※A 種	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	亜鉛めっき鋼面	・ A 種 ○B 種 ・ C 種	※A 種	○1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	コンクリート面及び押出成形セメント版面	・ A－1 種 ・ A－2 種 ・ B－1 種 ・ B－2 種 ・ C－1 種 ・ C－2 種	・ A－1 種 ・ B－1 種 ・ C－1 種		9 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	<div>[7.9.2]～[7.9.5][表7.9.1]～[表7.9.4]</div> <table><tr><th>下地の種類</th><th>塗替えの種別</th><th>新規塗りの種別</th></tr><tr><td>コンクリート面、モルタル面等</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>木部</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき面</td><td>・ A 種 ※B 種 ・ C 種</td><td>・ A 種 ※B 種</td></tr></table>	下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	コンクリート面、モルタル面等	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種	木部	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	鉄鋼面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種	亜鉛めっき面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種	10 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	<div>[7.10.2][表7.10.1]</div> <div>塗替えの種別</div> ・ A 種 ※B 種 ・ C 種 <div>新規塗りの種別</div> ・ A 種 ※B 種
タイルの種類								備 考																																																																																																																																																														
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	あり なし	施 釉	無 釉	役 物	色																																																																																																																																																															
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																														
		・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																														
使 用 区 分	溝幅×深さ(mm)																																																																																																																																																																					
・ 横形プライント	※90×150 ・ 120×150 ・																																																																																																																																																																					
・ 縦形プライント	※120×80 ・ 150×80 ・																																																																																																																																																																					
・ カーテン(又はレース共)	※150×80 ・ 180×80 ・																																																																																																																																																																					
・ カーテン+横形プライント	※180×150 ・																																																																																																																																																																					
種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																																																					
・ RA 種	・ 図示による																																																																																																																																																																					
※RB 種	※RA 種、RC 種以外の全て(内部) ・ 図示による																																																																																																																																																																					
・ RC 種	・ 図示による																																																																																																																																																																					
下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	※A 種 ・ B 種	・ A 種 ・ B 種	見掛けり部分 ※A 種 ・ B 種 見隠れ部分 ・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																			
亜鉛めっき面	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	・ A 種 ・ B 種 ※C 種	新規鋼製建具等※A 種 ・ B 種 その他 ・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																			
下地の種類		塗替えの種別	新規塗りの種別																																																																																																																																																																			
木部	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ・ B 種	下地調整は各表の注意書きによる																																																																																																																																																																			
鋼製建具	※亜鉛めっき面	※A 種 ・ B 種 ・ C 種	※A 種 ※B 種																																																																																																																																																																			
その他	※亜鉛めっき面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	※A 種 ※B 種																																																																																																																																																																			
塗替えの種別	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																					
新規塗りの種別	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																					
下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別																																																																																																																																																																			
コンクリート、モルタル面等	下地調整 ・ RA 種 ※RB 種 ・ RC 種	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	「塗料その他の」欄による																																																																																																																																																																			
下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	※A 種	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級																																																																																																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	・ A 種 ○B 種 ・ C 種	※A 種	○1 級 ・ 2 級 ・ 3 級																																																																																																																																																																			
コンクリート面及び押出成形セメント版面	・ A－1 種 ・ A－2 種 ・ B－1 種 ・ B－2 種 ・ C－1 種 ・ C－2 種	・ A－1 種 ・ B－1 種 ・ C－1 種																																																																																																																																																																				
下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別																																																																																																																																																																				
コンクリート面、モルタル面等	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																				
木部	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	※A 種 ・ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																				
鉄鋼面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																				
亜鉛めっき面	・ A 種 ※B 種 ・ C 種	・ A 種 ※B 種																																																																																																																																																																				
25 フリーアークスローフ	<div>(20.2.2)</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>構 法</th><th>仕上り高(mm)</th><th>適用地震時水平力</th><th>耐荷重性能(注1)</th><th>表面仕上げ材(注2)</th></tr><tr><td></td><td>・ ハーモ構法</td><td>・</td><td>・ 1.0G</td><td>・ 3.000N</td><td>・ 帯電防止床タイル</td></tr><tr><td></td><td>・ 溝構法</td><td>※50未満</td><td>・ 0.6G</td><td>・ 5.000N</td><td>・ タイルカーペット</td></tr><tr><td></td><td>・ ハーモ構法</td><td>・</td><td>・ 1.0G</td><td>・ 3.000N</td><td>・ 帯電防止床タイル</td></tr><tr><td></td><td>・ 溝構法</td><td>※50未満</td><td>・ 0.6G</td><td>・ 5.000N</td><td>・ タイルカーペット</td></tr></table> <div>注1：耐荷重性能5.000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーアークスローフの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。 注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床タイル張り、16 カーペット敷きによる。</div>	施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能(注1)	表面仕上げ材(注2)		・ ハーモ構法	・	・ 1.0G	・ 3.000N	・ 帯電防止床タイル		・ 溝構法	※50未満	・ 0.6G	・ 5.000N	・ タイルカーペット		・ ハーモ構法	・	・ 1.0G	・ 3.000N	・ 帯電防止床タイル		・ 溝構法	※50未満	・ 0.6G	・ 5.000N	・ タイルカーペット	36 カーテン及びカーテンレール	<div>[5.1.6]</div> <div>カーテン ・ 既存再利用する(養生方法：) [2.3.1][5.1.6] ・ 新設する (20.2.14)(表20.2.1) <table><tr><th>取付箇所</th><th>形 式</th><th>開閉操作方式</th><th>ひだの種類</th><th>きれ地の種別、品質、特殊加工品</th></tr><tr><td>・</td><td>・ シングル ・ 片引き</td><td>・ 手引き</td><td>・ フランスひだ</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・ ダブル ・ 引分け</td><td>・ ひも引き</td><td>・ 箱ひだ、つまひだ</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ 電動</td><td>・ グリーンひだ、片ひだ</td><td></td></tr></table> 暗幕用カーテンの両端、上部及び合わせの重なり ※300mm以上</div> <div>カーテンレール ・ 既存再使用する [5.1.6] ・ 新設する (20.2.14) <table><tr><th>強さによる区分</th><th>材 料</th><th>仕 上 げ</th><th>形 状</th></tr><tr><td>※10-90</td><td>※アルミニウム製</td><td>※ブライト</td><td>※角形</td></tr><tr><td>・</td><td>・ ステンレス製</td><td>・</td><td>・</td></tr></table></div>	取付箇所	形 式	開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品	・	・ シングル ・ 片引き	・ 手引き	・ フランスひだ	・	・	・ ダブル ・ 引分け	・ ひも引き	・ 箱ひだ、つまひだ	・			・ 電動	・ グリーンひだ、片ひだ		強さによる区分	材 料	仕 上 げ	形 状	※10-90	※アルミニウム製	※ブライト	※角形	・	・ ステンレス製	・	・	37 天井点検口	<table><tr><th>目地形状</th><th>適 用 箇 所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>・ 額縁タイプ</td><td>下記以外全て</td><td>※450×450</td></tr><tr><td>・ 目地タイプ</td><td>※図示</td><td>・ 600×600</td></tr><tr><td></td><td>・ 天井仕上げ材がDRの範囲</td><td></td></tr></table>	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600		・ 天井仕上げ材がDRの範囲		38 床点検口	<table><tr><th>本体の材質</th><th>目地の材質</th><th>適用箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>※アルミ製</td><td>※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅</td><td>下記以外全て</td><td>※600×600</td></tr><tr><td>・ ステンレス製</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600	・ ステンレス製			・	39 くつふきマット	<div>市販品</div> 材質 ・ 塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠) ・ ビニル製(ステンレス製受枠) ・ 硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ ステンレス製(受枠とも)	41 人研ぎ製流し等	<div>※サンダー掛け目荒らし後、クラック等をエポキシ系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・ 再研ぎ出し(図示による)</div>																																																																					
施工箇所	構 法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能(注1)	表面仕上げ材(注2)																																																																																																																																																																	
	・ ハーモ構法	・	・ 1.0G	・ 3.000N	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																	
	・ 溝構法	※50未満	・ 0.6G	・ 5.000N	・ タイルカーペット																																																																																																																																																																	
	・ ハーモ構法	・	・ 1.0G	・ 3.000N	・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																																	
	・ 溝構法	※50未満	・ 0.6G	・ 5.000N	・ タイルカーペット																																																																																																																																																																	
取付箇所	形 式	開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品																																																																																																																																																																		
・	・ シングル ・ 片引き	・ 手引き	・ フランスひだ	・																																																																																																																																																																		
・	・ ダブル ・ 引分け	・ ひも引き	・ 箱ひだ、つまひだ	・																																																																																																																																																																		
		・ 電動	・ グリーンひだ、片ひだ																																																																																																																																																																			
強さによる区分	材 料	仕 上 げ	形 状																																																																																																																																																																			
※10-90	※アルミニウム製	※ブライト	※角形																																																																																																																																																																			
・	・ ステンレス製	・	・																																																																																																																																																																			
目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																				
・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450																																																																																																																																																																				
・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600																																																																																																																																																																				
	・ 天井仕上げ材がDRの範囲																																																																																																																																																																					
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																			
※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製			・																																																																																																																																																																			
26 可動間仕切	<div>(20.2.3)</div> <table><tr><th>構造形式</th><th>ハーモ部の総厚さ(mm)</th><th>表面材種厚さ(mm)</th><th>ハーモ表面仕上げ</th><th>遮 音 性(JISによる記号)</th></tr><tr><td>※ハーモ式 ・ スタッド式 ・ スタッドハーモ式</td><td>・</td><td>※銅板(※0.6 - 0.8)</td><td>・ アルミ樹脂焼付け ・ アクリル樹脂焼付け</td><td>・ 有り</td></tr></table> <div>不燃材料の認定 ・ 有り</div>	構造形式	ハーモ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	ハーモ表面仕上げ	遮 音 性(JISによる記号)	※ハーモ式 ・ スタッド式 ・ スタッドハーモ式	・	※銅板(※0.6 - 0.8)	・ アルミ樹脂焼付け ・ アクリル樹脂焼付け	・ 有り	37 天井点検口	<table><tr><th>目地形状</th><th>適 用 箇 所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>・ 額縁タイプ</td><td>下記以外全て</td><td>※450×450</td></tr><tr><td>・ 目地タイプ</td><td>※図示</td><td>・ 600×600</td></tr><tr><td></td><td>・ 天井仕上げ材がDRの範囲</td><td></td></tr></table>	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600		・ 天井仕上げ材がDRの範囲		38 床点検口	<table><tr><th>本体の材質</th><th>目地の材質</th><th>適用箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>※アルミ製</td><td>※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅</td><td>下記以外全て</td><td>※600×600</td></tr><tr><td>・ ステンレス製</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600	・ ステンレス製			・	39 くつふきマット	<div>市販品</div> 材質 ・ 塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠) ・ ビニル製(ステンレス製受枠) ・ 硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ ステンレス製(受枠とも)	41 人研ぎ製流し等	<div>※サンダー掛け目荒らし後、クラック等をエポキシ系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・ 再研ぎ出し(図示による)</div>																																																																																																																											
構造形式	ハーモ部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	ハーモ表面仕上げ	遮 音 性(JISによる記号)																																																																																																																																																																		
※ハーモ式 ・ スタッド式 ・ スタッドハーモ式	・	※銅板(※0.6 - 0.8)	・ アルミ樹脂焼付け ・ アクリル樹脂焼付け	・ 有り																																																																																																																																																																		
目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																				
・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450																																																																																																																																																																				
・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600																																																																																																																																																																				
	・ 天井仕上げ材がDRの範囲																																																																																																																																																																					
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																			
※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製			・																																																																																																																																																																			
27 移動間仕切	<div>(20.2.4)</div> <table><tr><th>遮音性能による区分</th><th>厚さ(mm)</th><th>表面材</th><th>表面仕上げ</th><th>操作方法</th></tr><tr><td>・ 一般タイプ</td><td></td><td>※銅板</td><td>・ 焼付け塗装</td><td>・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式</td></tr><tr><td>・ 遮音タイプ</td><td></td><td>※銅板</td><td>・ 焼付け塗装</td><td>・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式</td></tr></table> <div>表面仕上げの壁紙張りの品質 22壁紙張りによる。 遮音性能 ※36dB/500Hz以上 ・ 36dB/500Hz未満 パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・</div>	遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法	・ 一般タイプ		※銅板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ 遮音タイプ		※銅板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	37 天井点検口	<table><tr><th>目地形状</th><th>適 用 箇 所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>・ 額縁タイプ</td><td>下記以外全て</td><td>※450×450</td></tr><tr><td>・ 目地タイプ</td><td>※図示</td><td>・ 600×600</td></tr><tr><td></td><td>・ 天井仕上げ材がDRの範囲</td><td></td></tr></table>	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600		・ 天井仕上げ材がDRの範囲		38 床点検口	<table><tr><th>本体の材質</th><th>目地の材質</th><th>適用箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>※アルミ製</td><td>※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅</td><td>下記以外全て</td><td>※600×600</td></tr><tr><td>・ ステンレス製</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600	・ ステンレス製			・	39 くつふきマット	<div>市販品</div> 材質 ・ 塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠) ・ ビニル製(ステンレス製受枠) ・ 硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ ステンレス製(受枠とも)	41 人研ぎ製流し等	<div>※サンダー掛け目荒らし後、クラック等をエポキシ系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・ 再研ぎ出し(図示による)</div>																																																																																																																						
遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法																																																																																																																																																																		
・ 一般タイプ		※銅板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式																																																																																																																																																																		
・ 遮音タイプ		※銅板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式																																																																																																																																																																		
目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																				
・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450																																																																																																																																																																				
・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600																																																																																																																																																																				
	・ 天井仕上げ材がDRの範囲																																																																																																																																																																					
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																			
※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製			・																																																																																																																																																																			
28 トイレブース	<div>(20.2.5)</div> <div>表面仕上げ材 ・ アルミ樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ ポリエチレン樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) 脚部(ステンレス製)※幅木タイプ ・ 支柱タイプ ドアーエッジ ※曲面形 ・ フラット形 ・ 製造所の仕様</div>	37 天井点検口	<table><tr><th>目地形状</th><th>適 用 箇 所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>・ 額縁タイプ</td><td>下記以外全て</td><td>※450×450</td></tr><tr><td>・ 目地タイプ</td><td>※図示</td><td>・ 600×600</td></tr><tr><td></td><td>・ 天井仕上げ材がDRの範囲</td><td></td></tr></table>	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600		・ 天井仕上げ材がDRの範囲		38 床点検口	<table><tr><th>本体の材質</th><th>目地の材質</th><th>適用箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>※アルミ製</td><td>※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅</td><td>下記以外全て</td><td>※600×600</td></tr><tr><td>・ ステンレス製</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600	・ ステンレス製			・	39 くつふきマット	<div>市販品</div> 材質 ・ 塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠) ・ ビニル製(ステンレス製受枠) ・ 硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ ステンレス製(受枠とも)	41 人研ぎ製流し等	<div>※サンダー掛け目荒らし後、クラック等をエポキシ系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・ 再研ぎ出し(図示による)</div>																																																																																																																																					
目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																				
・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450																																																																																																																																																																				
・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600																																																																																																																																																																				
	・ 天井仕上げ材がDRの範囲																																																																																																																																																																					
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																			
※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製			・																																																																																																																																																																			
29 階段滑止め	<div>(20.2.6)</div> <div>材 種 ※ステンレス(SUS304) ・ アルミニウム ・ 黄銅 形 状 ※ビニルシート入り 両端フラットエンド ※有り(・ ステンレス製 ※ビニル製) ・ 無し ・ ビニルシート無し 幅(mm) ・ 50 ・ 65 ・ 75 ・ 取付け工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法</div>	37 天井点検口	<table><tr><th>目地形状</th><th>適 用 箇 所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>・ 額縁タイプ</td><td>下記以外全て</td><td>※450×450</td></tr><tr><td>・ 目地タイプ</td><td>※図示</td><td>・ 600×600</td></tr><tr><td></td><td>・ 天井仕上げ材がDRの範囲</td><td></td></tr></table>	目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)	・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600		・ 天井仕上げ材がDRの範囲		38 床点検口	<table><tr><th>本体の材質</th><th>目地の材質</th><th>適用箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td>※アルミ製</td><td>※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅</td><td>下記以外全て</td><td>※600×600</td></tr><tr><td>・ ステンレス製</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)	※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600	・ ステンレス製			・	39 くつふきマット	<div>市販品</div> 材質 ・ 塩化ビニル製(コイル状、ステンレス製受枠) ・ ビニル製(ステンレス製受枠) ・ 硬質アルミニウム製(受枠とも) ・ ステンレス製(受枠とも)	41 人研ぎ製流し等	<div>※サンダー掛け目荒らし後、クラック等をエポキシ系パテ処理し、エポキシ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。 ・ 再研ぎ出し(図示による)</div>																																																																																																																																					
目地形状	適 用 箇 所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																				
・ 額縁タイプ	下記以外全て	※450×450																																																																																																																																																																				
・ 目地タイプ	※図示	・ 600×600																																																																																																																																																																				
	・ 天井仕上げ材がDRの範囲																																																																																																																																																																					
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																			
※アルミ製	※アルミ ・ ステンレス ・ 黄銅	下記以外全て	※600×600																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製			・																																																																																																																																																																			

(株) 星 野 設 計 事 務 所		工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	D - 5
1級建築士 登録第171414 渡邊陽一		図面名称	特記仕様書(そのⅣ)		縮尺	

[illegible]

10追加特記

1公共事業労務費調査への協力

※協力する

2工事監理方式

共同監理・有り・無し

3適用基準等

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）
※工事運行マニュアル

4総合図

※作成する

5工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

6工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇	備 考	
躯体関係								
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリフ材及び取付け	○	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画	
	貫通孔・開口部の補強	○	○					
	スリフ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		
2. S・SRC造はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリフ・補強	○						
	使用されたスリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
	予備スリフの穴埋め	○	○	○	○	○		
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押さえコンにアジャスターのない軽微なもの		○	○	○			
	機器取付け用アジャスター・架台			○	○	○		
	屋内受水タンクの基礎	○						
仕 上 げ 関 係								
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボルトの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボルトの切り込み		○	○				
	開口部の墨出し			○	○			
電 気 関 係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側	
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線		○	○	○			
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）								
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△	△	小規模は要協議	
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△	△	小規模は要協議	
流し台、ガス台		○						
便所手洗いかンタ		○					衛生陶器は衛生設備	
洗面化粧台						○		
ガス漏れ警報器						○		
24H換気扇	機器納入					○	取付は電気設備	
連動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備	
湯沸器	機器納入					○	取付は電気設備	
連動スイッチ	取付			○			機器納入は衛生設備	

7発生材の処理等

1再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考
再生クラッシュラン	C-40		桜井石材/魚沼市下倉	

2建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施工会社名・連絡先	備 考

3建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称
工事場所／施設所在地
連 絡 先
仮 置 場 所 の 有 無
備 考

10追加特記

4建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	金属くず	廃プラスチック	
処 理 施 設 名 称	（有）渡邊鋼鉄店	魚沼環境（株）	
施 設 所 在 地	魚沼市四日町381-1	魚沼市青島761-1	
連 絡 先	025-792-6140	025-792-1895	
備 考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5建築リサイクル法の対象建設工事は工事の規模に関係なくすべてを対象とする。
発注者への説明、書面の交付、届出の提出等を行う
建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7再生資源利用計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にFＤで提出すること
再生資源利用促進計画書の必要の有無（有）実施書は完了時にFＤで提出すること

8協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

9化学物質の濃度測定

[1. 6. 9]

1)測定時期
測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。
測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。
※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6) の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質
※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）
※トルエン（指定値0.07ppm以下）
※キシレン（指定値0.05ppm以下）
※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）
※スチレン（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室
・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）
・ 室（測定箇所 箇所）

4)測定方法
測定機器
※パッシブ型採取機器
・監督員の承諾する機器
測定要領（パッシブ型測定法の場合）
※ 測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。
※ 測定は次のイ～ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
※ その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。
※ 測定結果の分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

5)測定結果が指針値を超えた場合の措置
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。

6)報告書の提出
※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。
(1) 有価物は原則として工事費（積算）に含めない
(2) 鉄くず等金属類及び電線等は有価物として有価物引取り業者に持ち込むこと
(3) 有価物引取り業者は計量伝票を建設工事受注業者に発行する
(4) 建設工事受注業者は軽量伝票を根拠に有価物売り払い金清算を完了する
(5) 有価物売り払い金清算完了後、計量伝票を発注担当部署へ一括引き渡す
(6) 発注担当部署は納入通知書を建設工事受注業者に発行し納めていただく

11追加特記

参考メーカー及び商品名

外壁材	カラー角波鉄板横張り t=0.4	BLアートサイディング（340タイプ）	（株）セキノ興産	同等品
外壁下地材	防湿・防水シート	ダディスバリア	田島ルーフィング（株）	同等品
外壁見切等	カラー鉄板 t=0 曲げ加工	ニスカラーPro・GC	日鉄鋼板（株）	同等品
軒天	コンクリート面 水性反応硬化形軒天上専用仕上塗材	ノキフレッシュ	エスケー化研（株）	同等品
	石綿セメント板面 弱溶剤形防カビつや消し塗料	ビルデック 2回塗り	大日本塗料（株）	同等品
コンクリート打ち放し面仕上塗材	可とう形改修塗材RE	水性ソフトサーフエポ下塗り	プレミアムシリコン2回塗り	ウールローラー仕上
			エスケー化研（株）	同等品
既存鋼材垂鉛メッキ処理面塗装仕上	耐候性塗料塗り（DP）	フロンティアHG	神東塗料（株）	同等品
屋上防水	2階屋上・ベランダ	平面 立上り 笠木廻り	ウレタン塗膜防水（X-1）工法 ウレタン塗膜防水（X-2）工法 ウレタン塗膜防水（X-2）工法	（株）ダイフレックス （株）ダイフレックス （株）ダイフレックス
	屋上	平面 立上り 笠木廻り	塩ビシート防水t=2.0 絶縁工法 塩ビシート防水t=2.0 密着工法 ウレタン塗膜防水（X-2）工法	アーキヤマデ（株） アーキヤマデ（株） （株）ダイフレックス

(株) 星 野 設 計 事 務 所

1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称

ふたば東保育園外部改修工事

図面名称

特記仕様書（そのⅥ）

日付

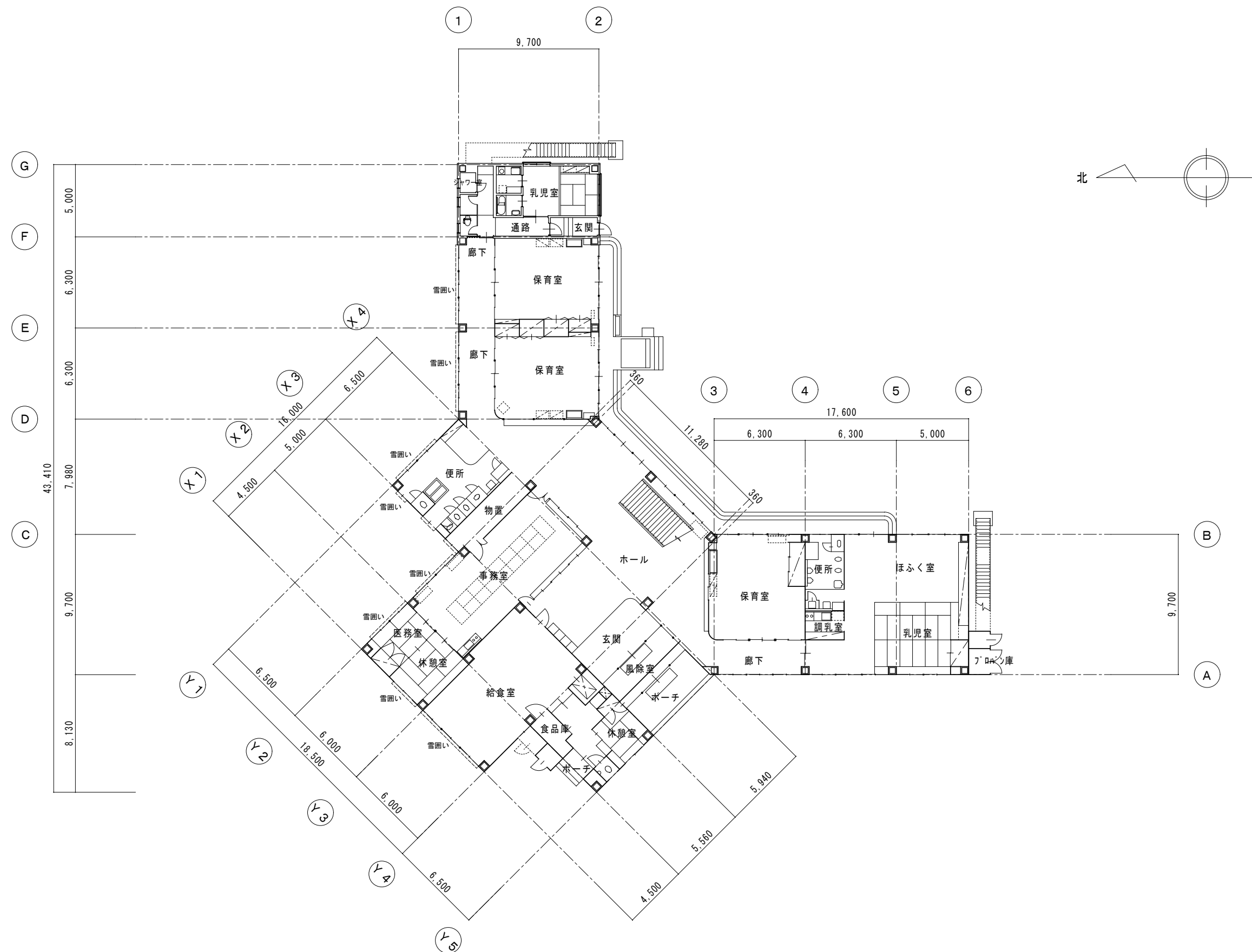
R.4年5月 日

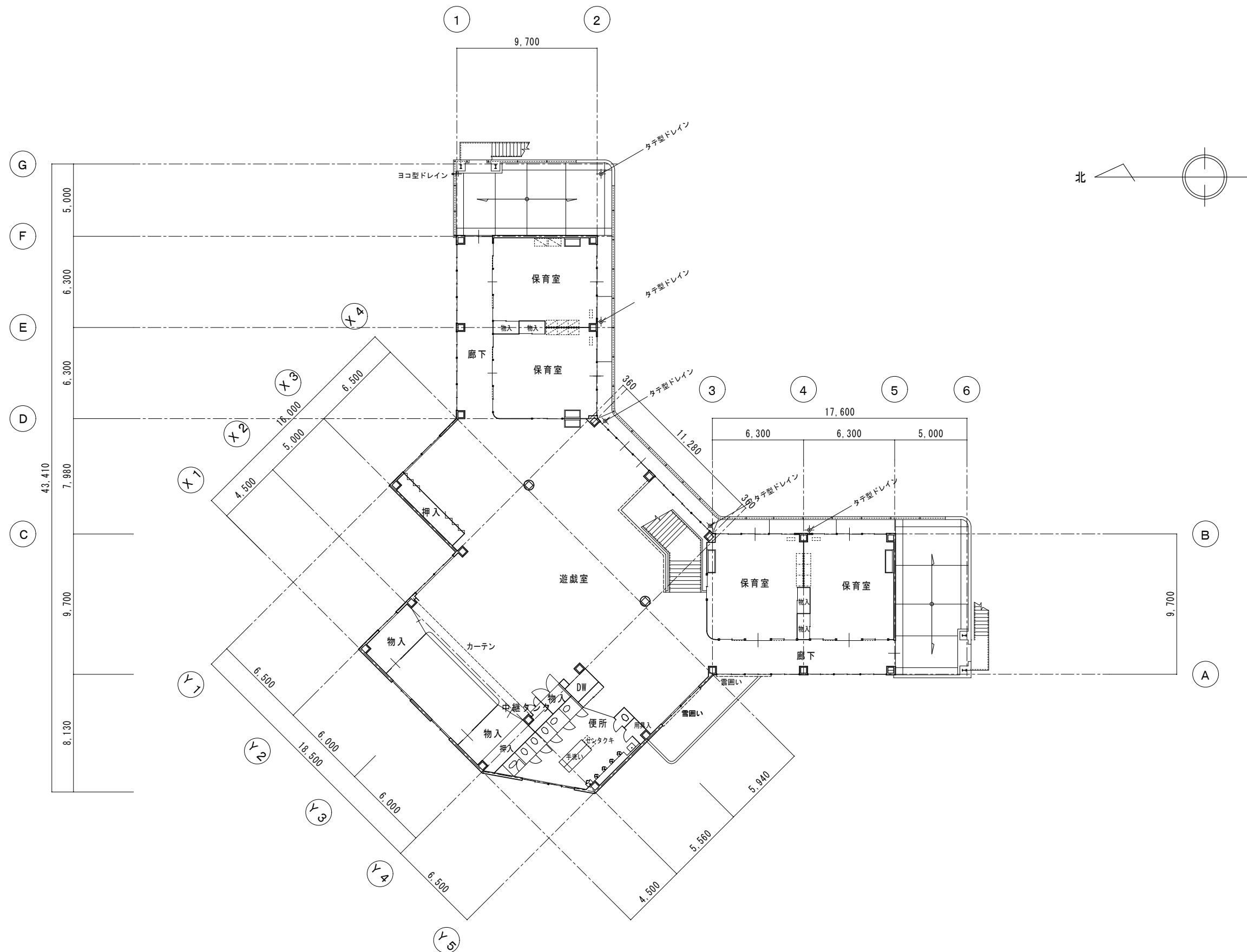
縮尺

D

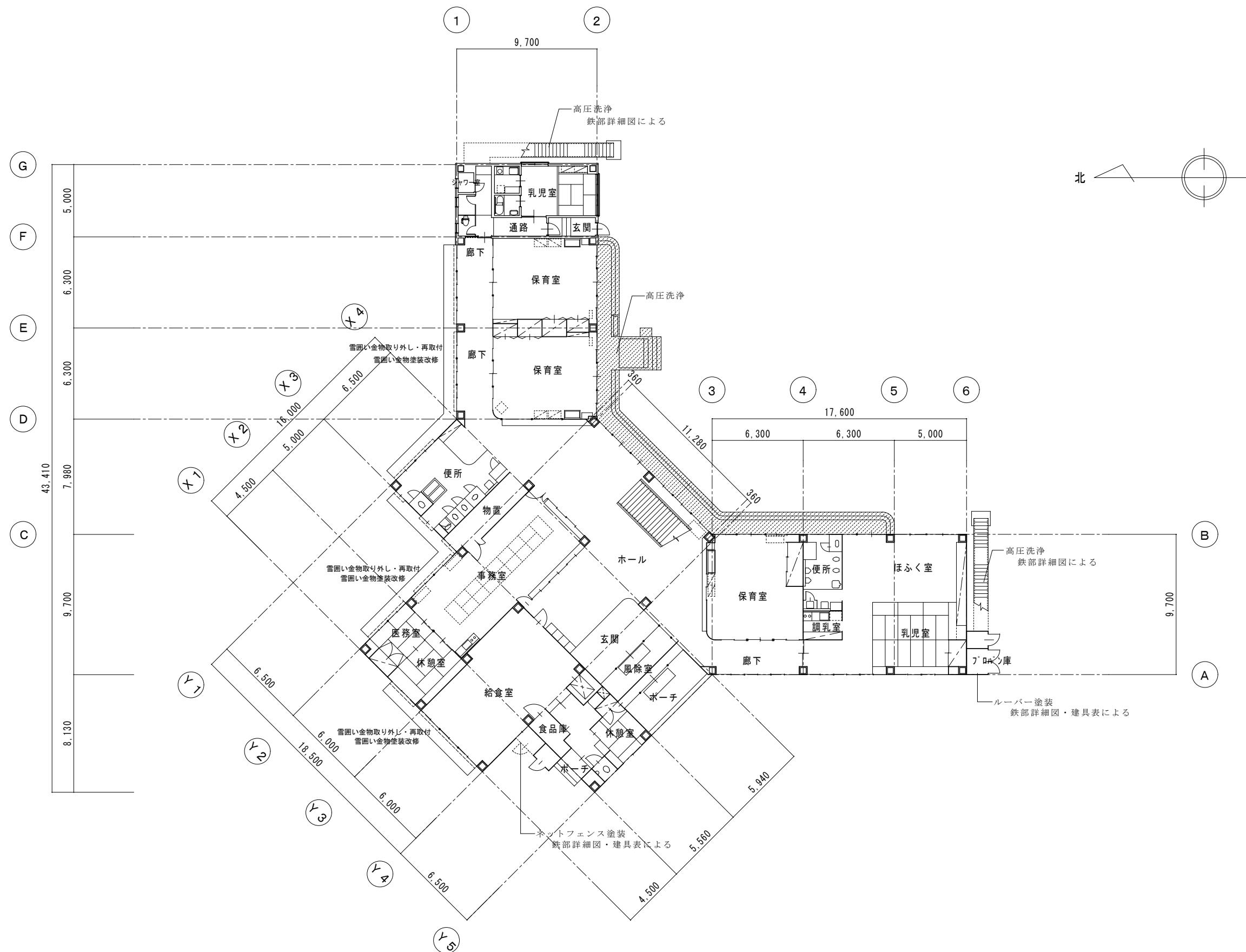
-

7

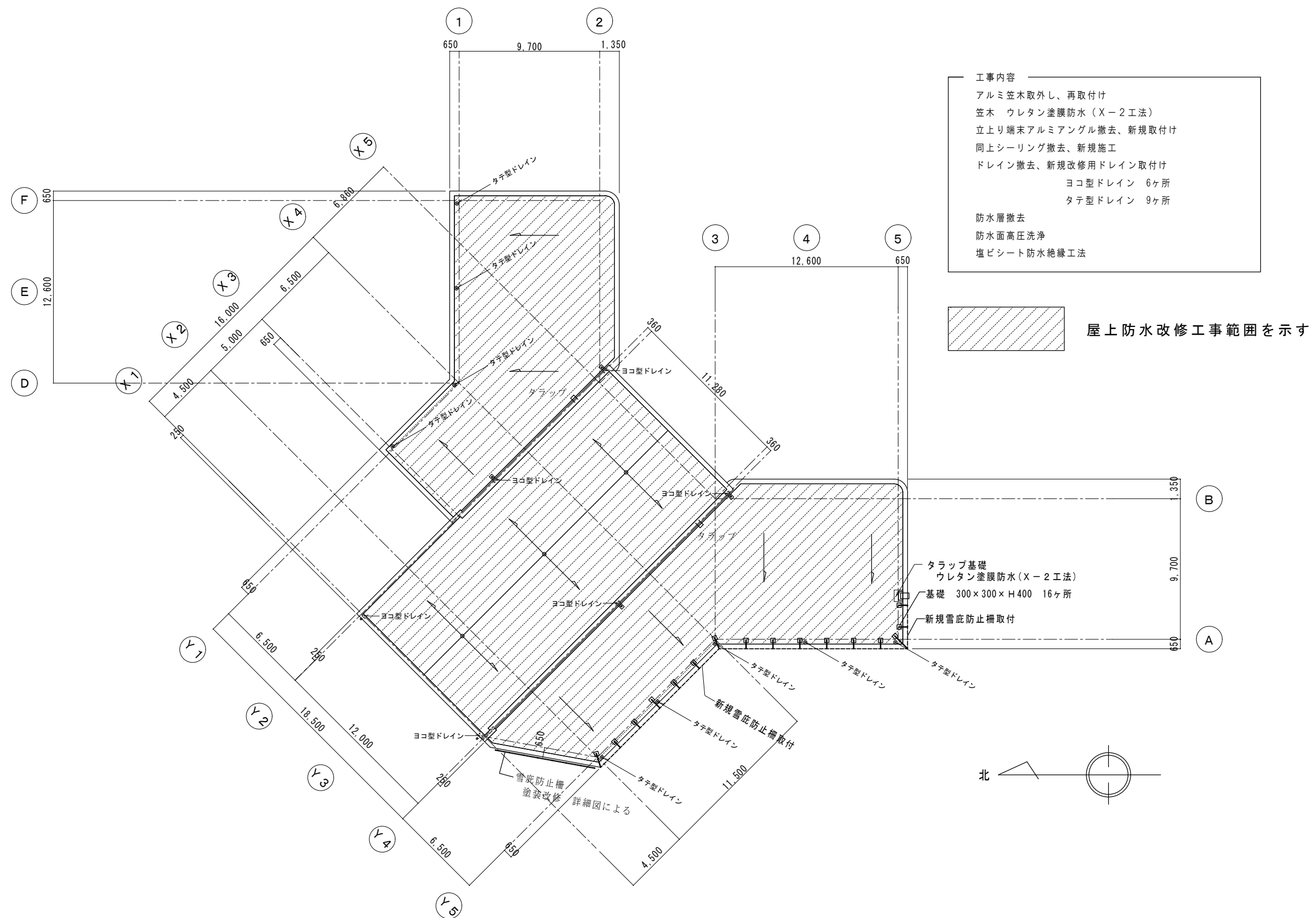




	株式会社 星野設計事務所 1級建築士 登録第171414 渡邊陽一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 9
		図面名称	現況 2階平面図	縮尺	1:200	



	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	R 4 年 5 月 日	D - 11
		図面名称	改修後 1階平面図		縮尺		

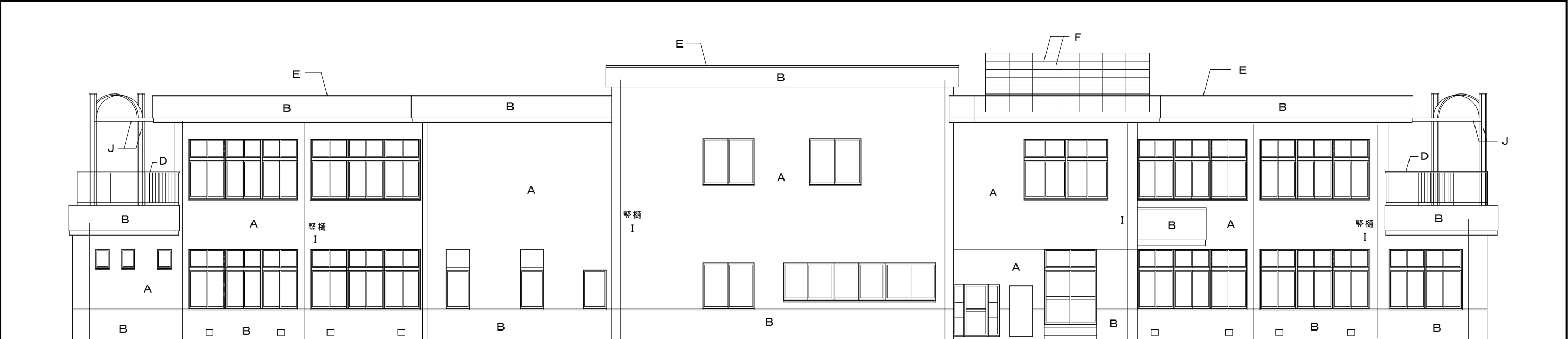


(註) 屋上横型ドレイン及び立型ドレインは各ドレイン共改修用ドレインにて改修すること

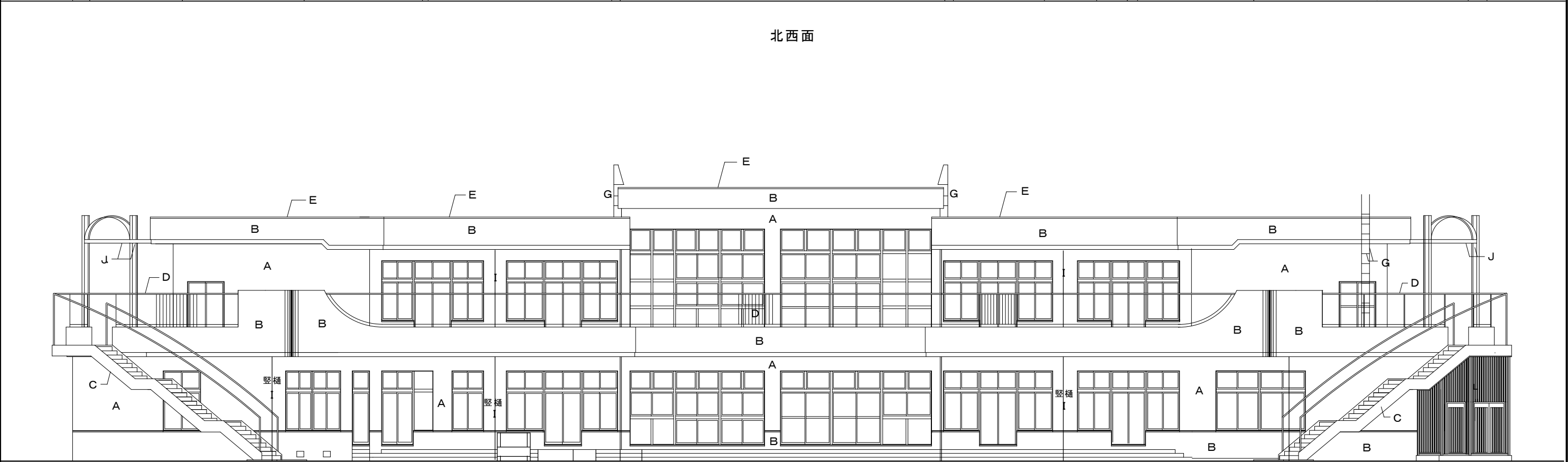
株式会社 星野設計事務所
1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

工事名称 ふたば東保育園外部改修工事
図面名称 改修後 屋根伏図

日付 R 4 年 5 月 日
縮尺 1:200

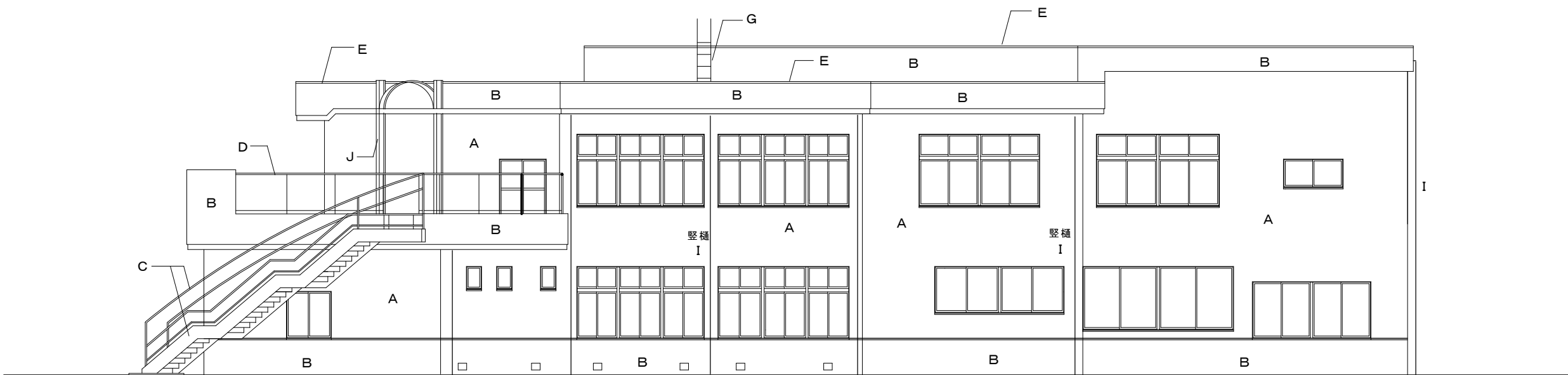


北西面

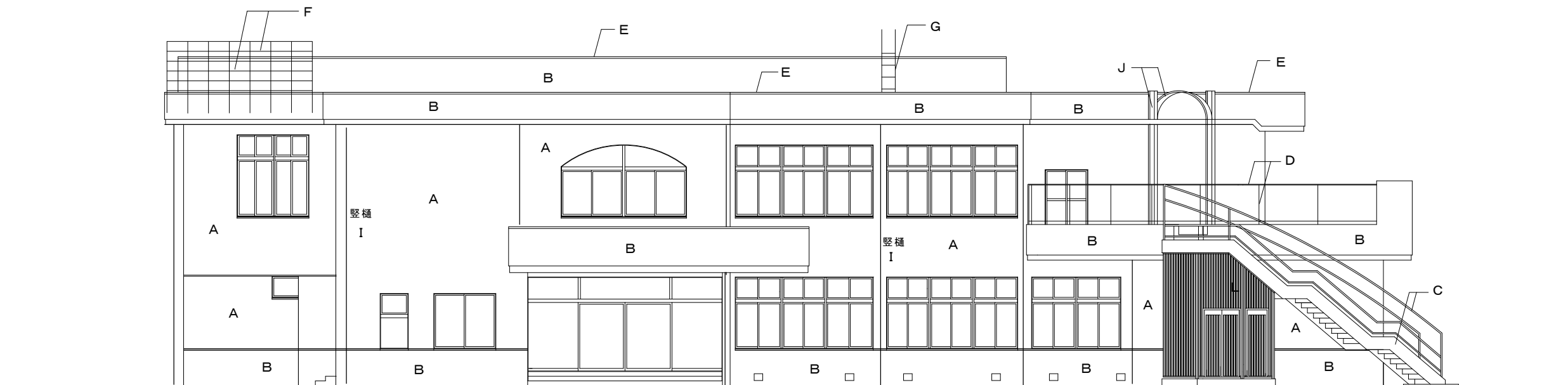


東南面

A	押出成形セメント板張り複層仕上塗材吹付	G	屋上タラップ鋼材は全てステンレス鋼材
B	コンクリート打放シ複層仕上塗材吹付	H	窓廻り雪囲い金物鋼材は全て亜鉛メッキ処理の上 FE塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面・蹴上ウレタン塗膜防水・鉄部亜鉛メッキ処理の上 F E 塗り	I	縦樋 塩ビライニング鋼管100φ 支持金物 FB-3×50 縦樋。支持金物共 FE塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面、蹴上コンクリート打金コテ押さえ仕上 鉄部亜鉛メッキ処理の上 F E 塗り	J	2階屋上アーチ構造物は鉄骨造亜鉛メッキ処理FE塗り
D	バルコニー テスリ鋼材は全てステンレス鋼材	K	タテ型ドレン100φ-14か所・ヨコ型ドレン100φ-7か所
E	笠木 既製品アルミ笠木	L	格子階段下間仕切鋼材亜鉛メッキ処理・ F E 塗り
F	雪庇防止柵の鋼材は全て亜鉛メッキ処理の上FE塗り	M	コンクリート打ち放し複層仕上塗材吹付及び石綿セメント板薄付仕上塗材吹付

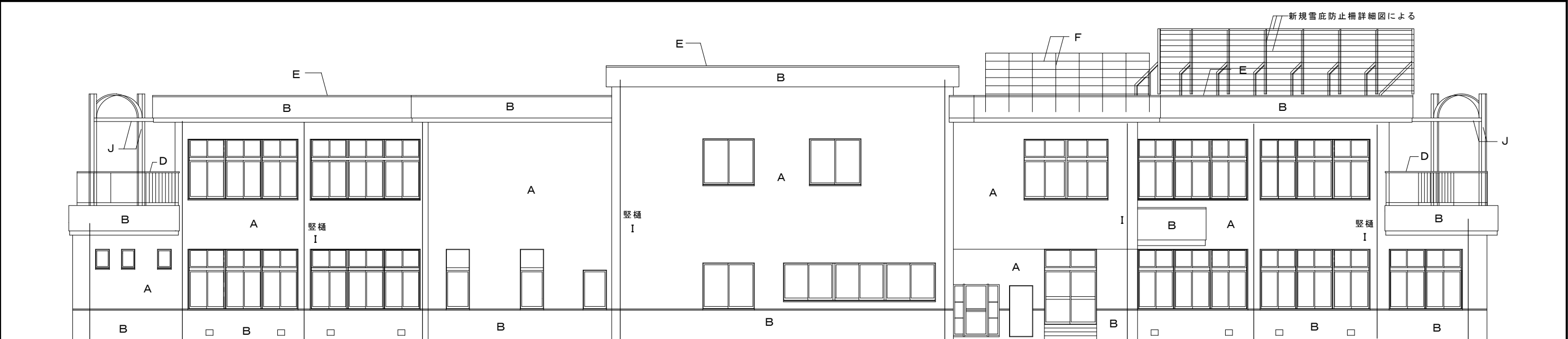


北東面

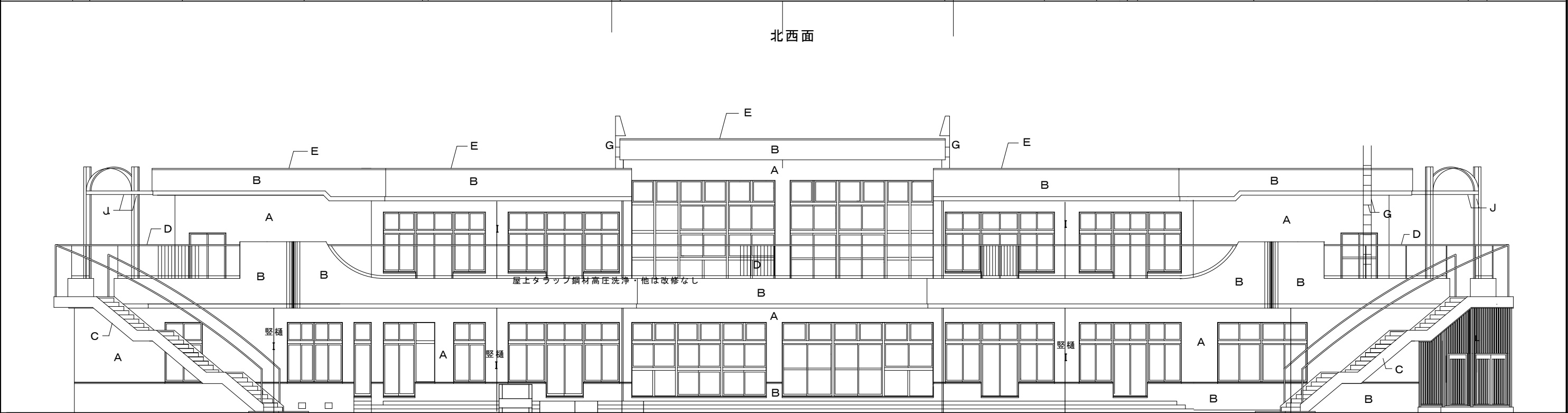


西南面

A	押出成形セメント板張り複層仕上塗材吹付	G	屋上タラップ鋼材は全てステンレス鋼材
B	コンクリート打放シ複層仕上塗材吹付	H	窓廻り雪囲い金物鋼材は全て亜鉛メッキ処理の上 FE塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面・蹴上ウレタン塗膜防水・鉄部亜鉛メッキ処理の上 FE塗り	I	縦樋 塩ビライニング鋼管100φ 支持金物 FB-3×50 縦樋。支持金物共 FE塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面・蹴上コンクリート打金コテ押さえ仕上 鉄部亜鉛メッキ処理の上 FE塗り	J	2階屋上アーチ構造物は鉄骨造亜鉛メッキ処理FE塗り
D	バルコニー テスリ鋼材は全てステンレス鋼材	K	タテ型ドレン100φ-14か所・ヨコ型ドレン100φ-7か所
E	笠木 既製品アルミ笠木	L	格子階段下間仕切鋼材亜鉛メッキ処理・FE塗り
F	雪庇防止柵の鋼材は全て亜鉛メッキ処理の上FE塗り	M	コンクリート打ち放し複層仕上塗材吹付及び石綿セメント板薄付仕上塗材吹付

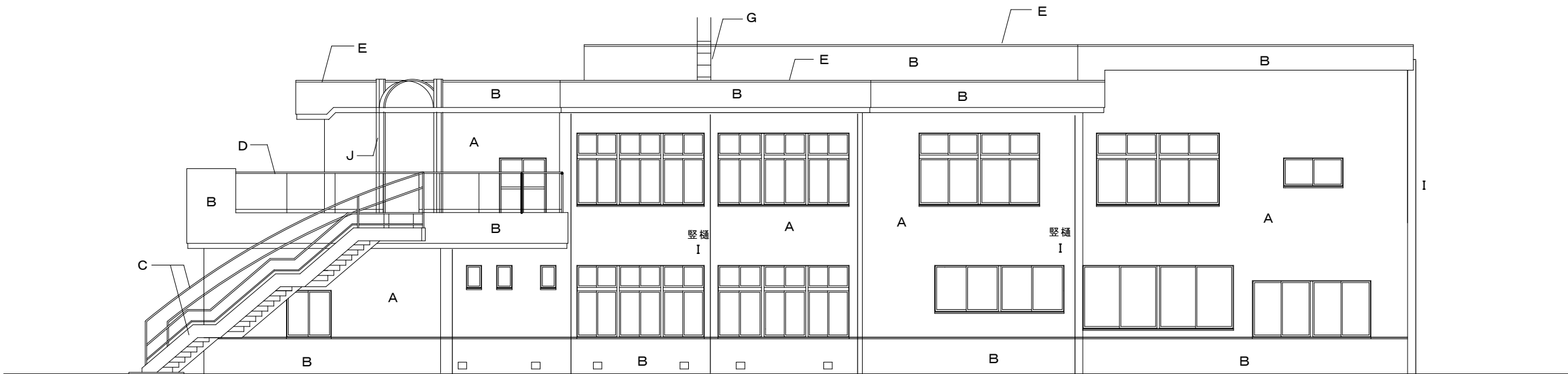


北西面

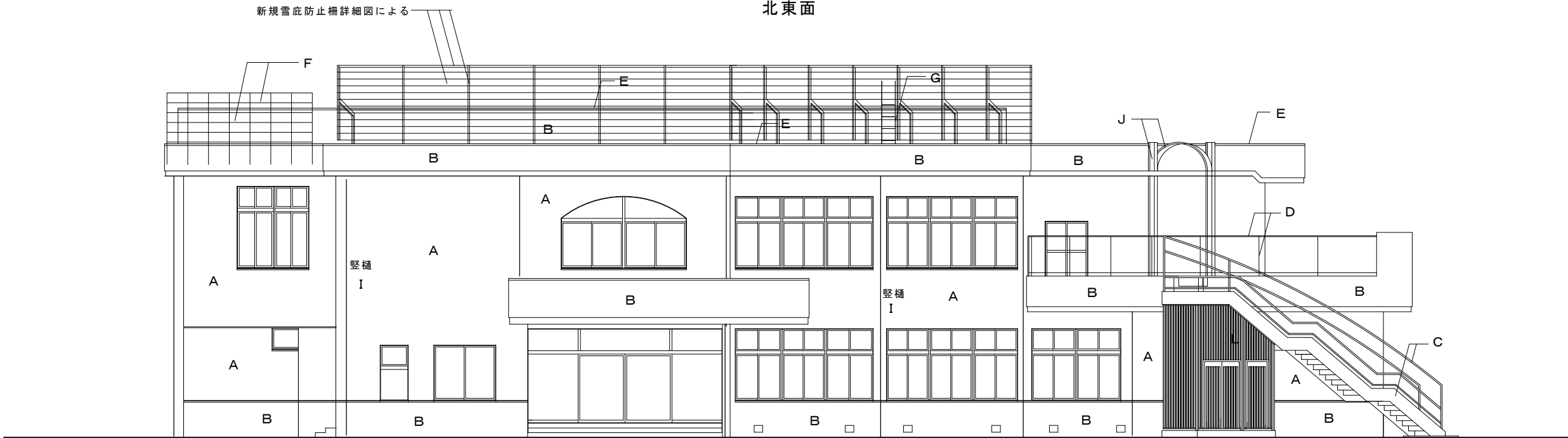


東南面

A	既存仕上材の上新規角波カラー鉄板 t=0.4横張り・防湿、防水シート (3.5kg/50㎡) 下地	G	屋上タラップは改修なし・一部基礎新規ウレタン塗膜防水 (X-2工法)
B	高圧洗浄・クラック処理 (塗装面積の20%程度) 新規可とう形改修塗材 RE ローラー工法	H	窓廻り雪囲い金物は取り外し・再取付・下地処理のうえ新規 耐候性塗料塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面・蹴上高圧洗浄・鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	I	縦樋 塩ビライニング鋼管100φは取り外し・再取付 受金物市販品に取り換え・下地処理の上新規耐候性塗装塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面、蹴上高圧洗浄・ウレタン塗膜防水塗り 鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	J	2階屋上アーチ構造物は鉄部塗装・下地処理の上新規耐候性塗料塗り
D	バルコニー テスリ鋼材は改修なし	K	ヨコ型及びタテ型ドレンは改修用に取り換え
E	笠木 既製品アルミ笠木は高圧洗浄・取り外し・再取付	L	格子階段下間仕切は塗装改修・下地処理の上新規耐候性塗料塗り
F	既存雪庇防止柵の鋼材は改修なし・鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	M	軒天 高圧洗浄・下地処理の上新規水性反応硬化形軒天専用仕上塗材吹付 (コンクリート面) 及びビルデック2回塗り (石綿セメント面)

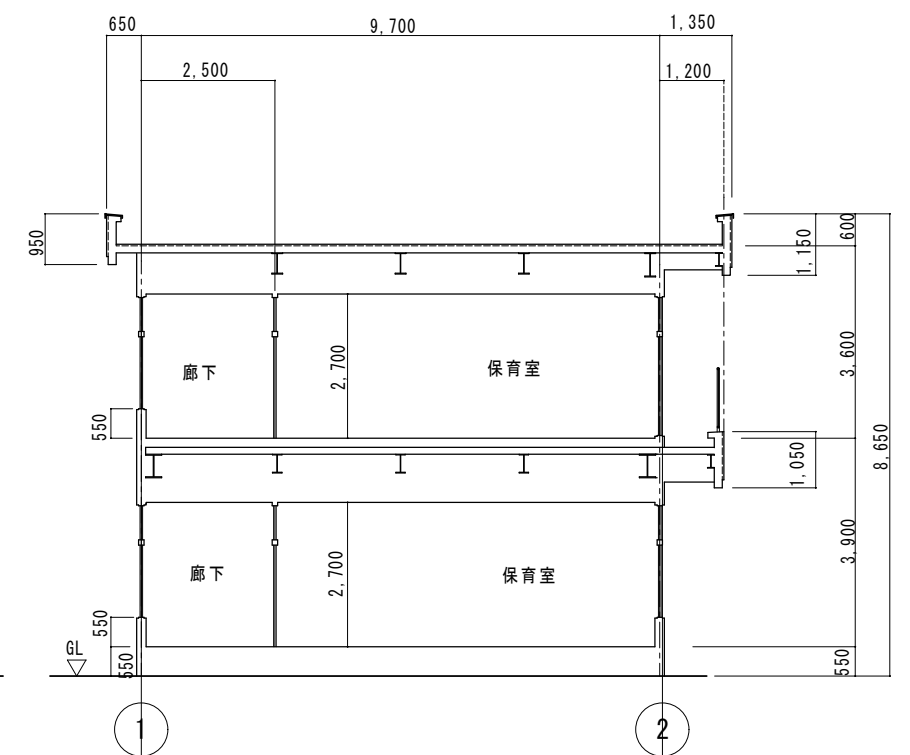
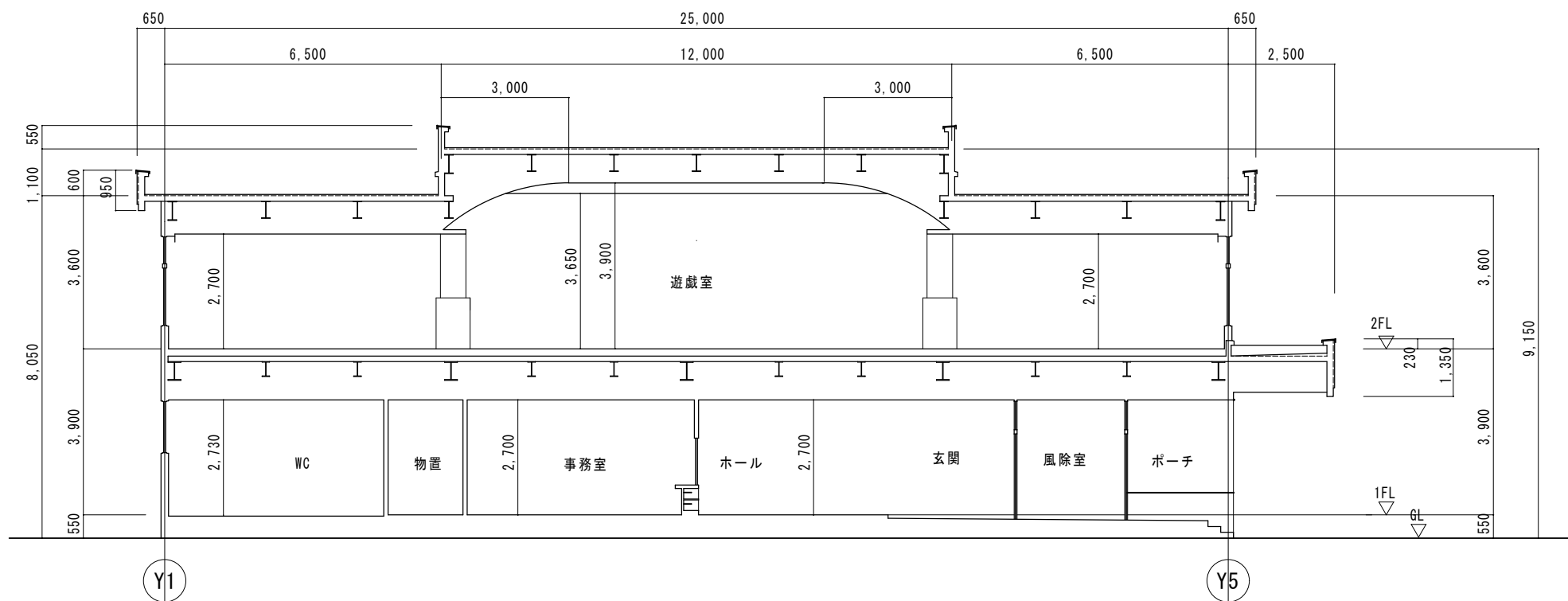


北東面

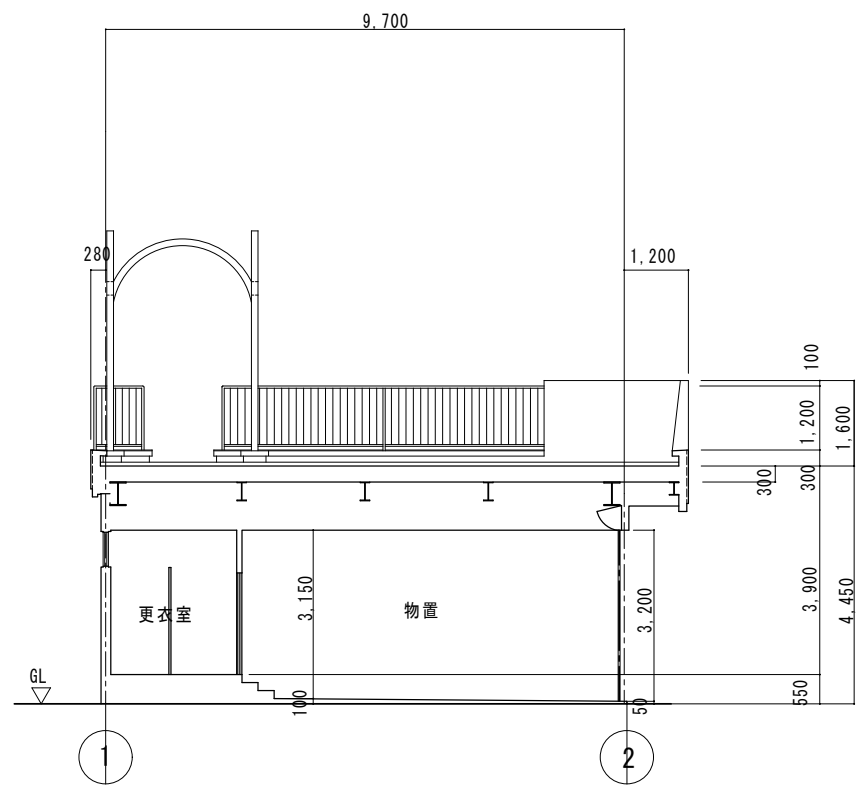
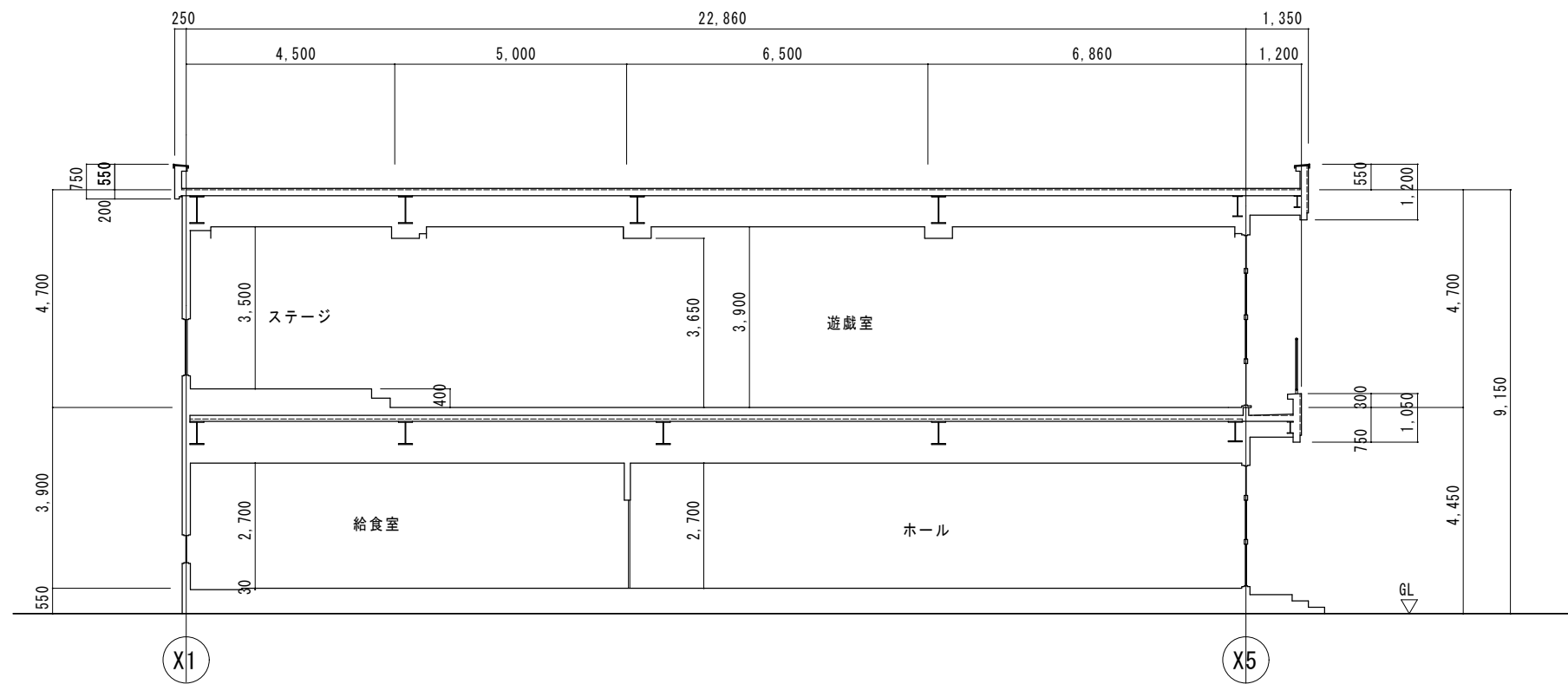


西南面

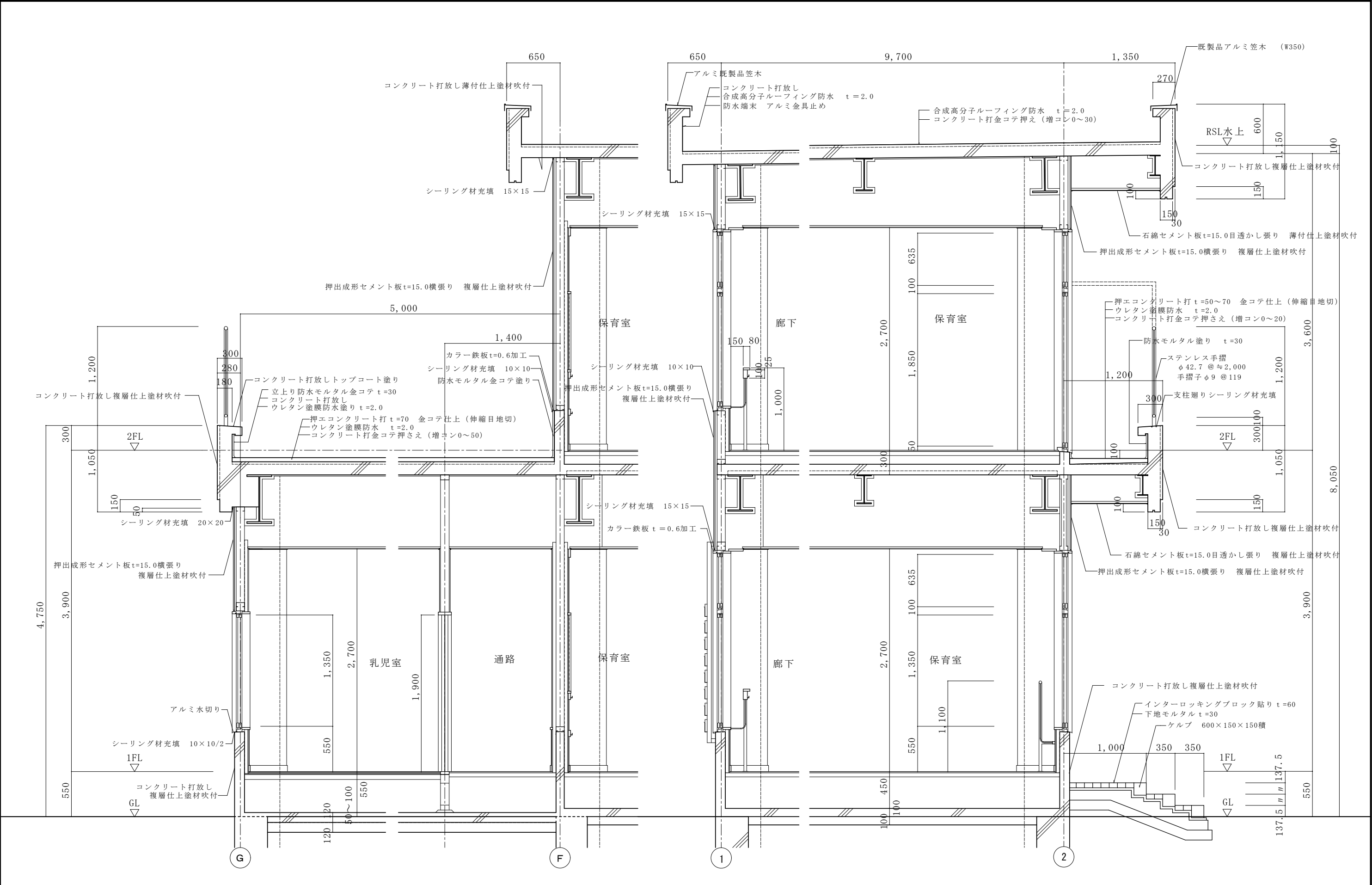
A	既存仕上材の上新規角波カラー鉄板 t=0.4横張り・防湿、防水シート（3.5kg/50㎡）下地	G	屋上タラップは改修なし・一部基礎新規ウレタン塗膜防水（X-2工法）
B	高圧洗浄・クラック処理（塗装面積の20%程度）新規可とう形改修塗材 RE ローラー工法	H	窓廻り雪囲い金物は取り外し・再取付・下地処理のうえ新規 耐候性塗料塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面・蹴上高圧洗浄・鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	I	縦樋 塩ビライニング鋼管100φは取り外し・再取付 受金物市販品に取り換え・下地処理の上新規耐候性塗装塗り
C	外部階段-6通り側ふみ面、蹴上高圧洗浄・ウレタン塗膜防水塗り 鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	J	2階屋上アーチ構造物は鉄部塗装・下地処理の上新規耐候性塗料塗り
D	バルコニー テスリ鋼材は改修なし	K	ヨコ型及びタテ型ドレンは改修用に取り換え
E	笠木 既製品アルミ笠木は高圧洗浄・取り外し・再取付	L	格子階段下間仕切は塗装改修・下地処理の上新規耐候性塗料塗り
F	既存雪庇防止柵の鋼材は改修なし・鉄部塗装は下地処理の上新規耐候性塗料塗り	M	軒天 高圧洗浄・下地処理の上新規水性反応硬化形軒天専用仕上塗材吹付（コンクリート面）及びビルデッキ2回塗り（石綿セメント面）



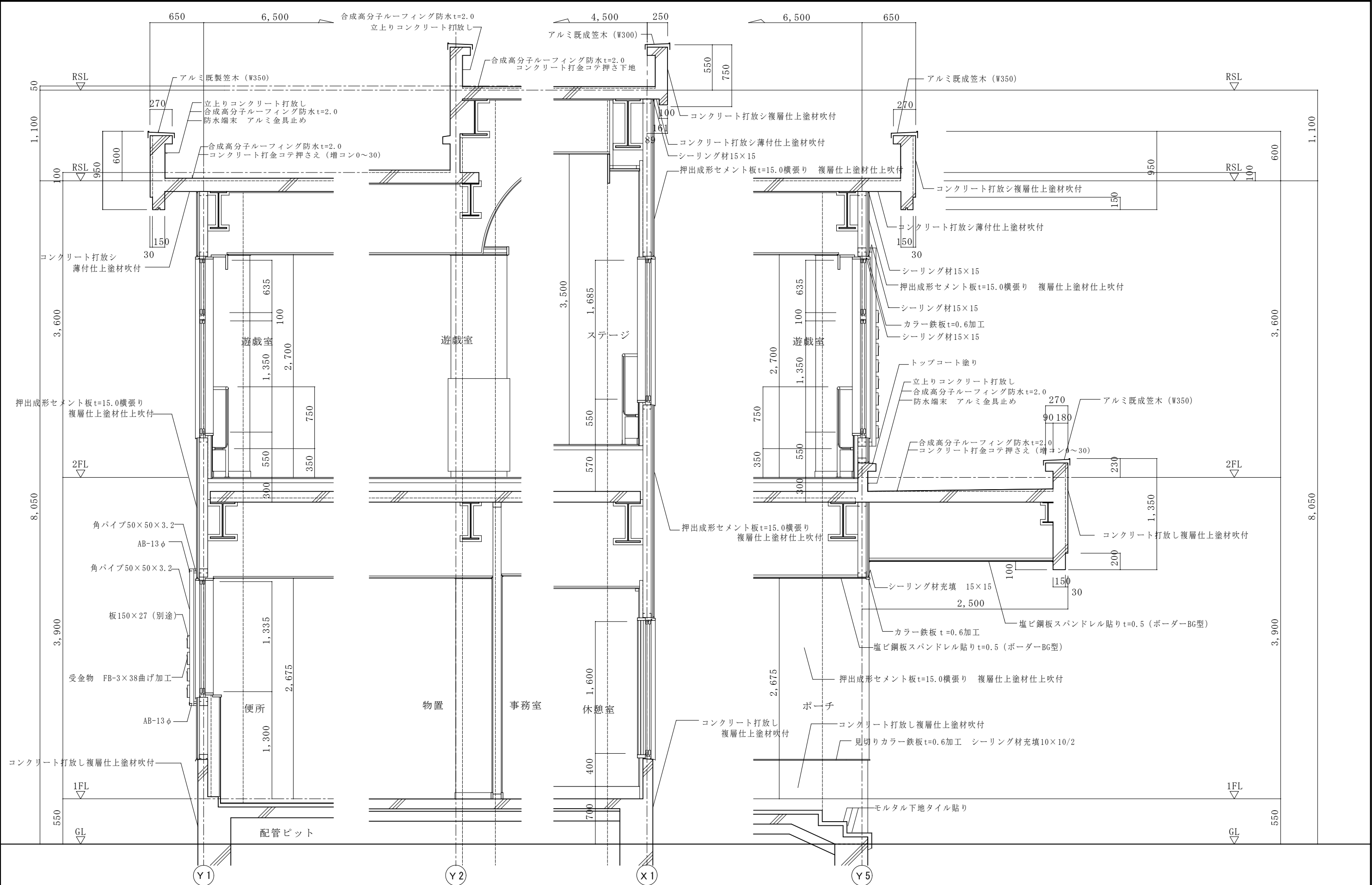
	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称 ふたば東保育園外部改修工事	日付 R 4 年 5 月 日	D - 18
		図面名称 現 況 断 面 図 1	縮尺 1 : 100	



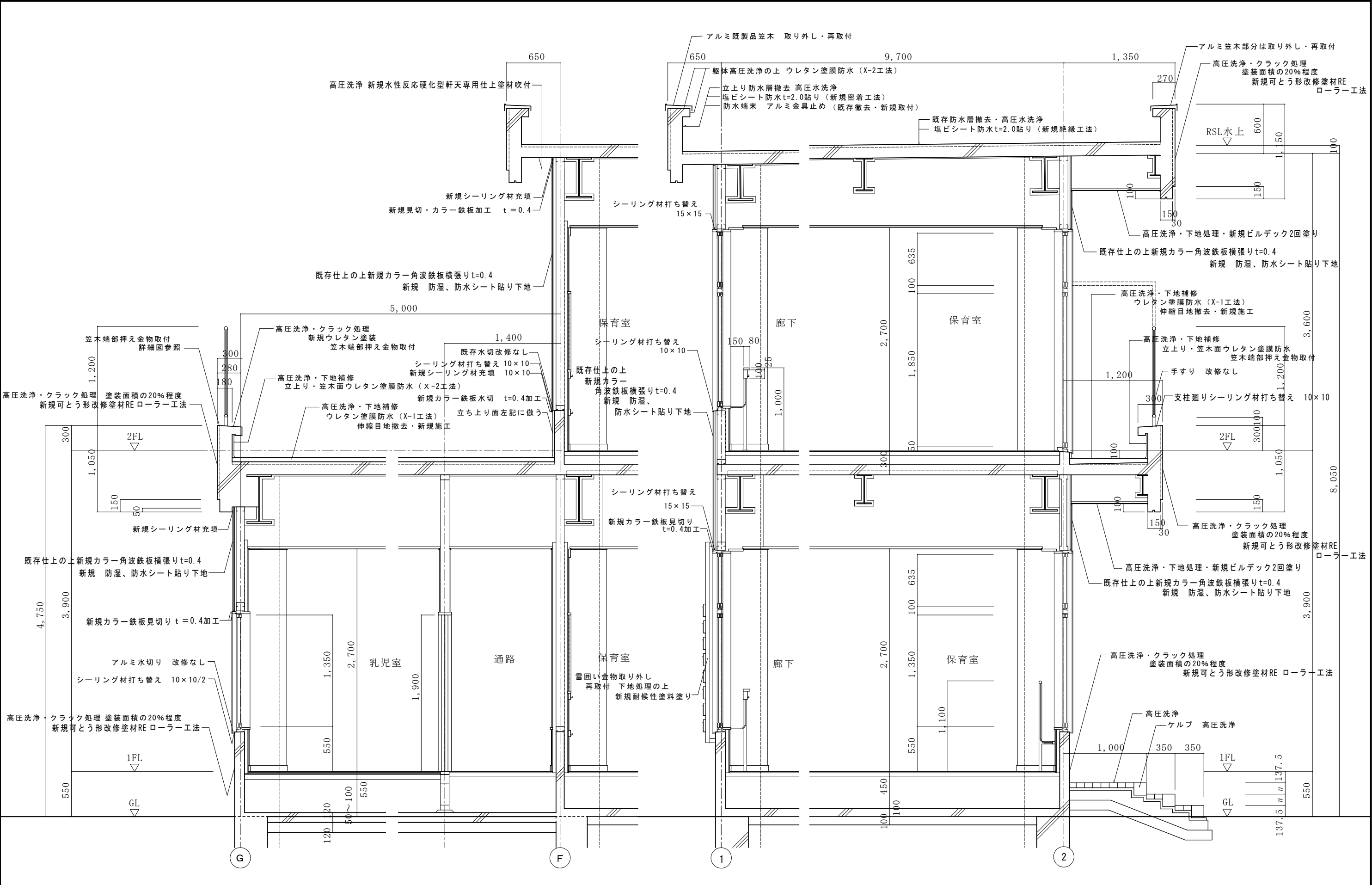
	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称 ふたば東保育園外部改修工事	日付 R 4 年 5 月 日	D - 19
		図面名称 現 況 断 面 図 2	縮尺 1 : 100	



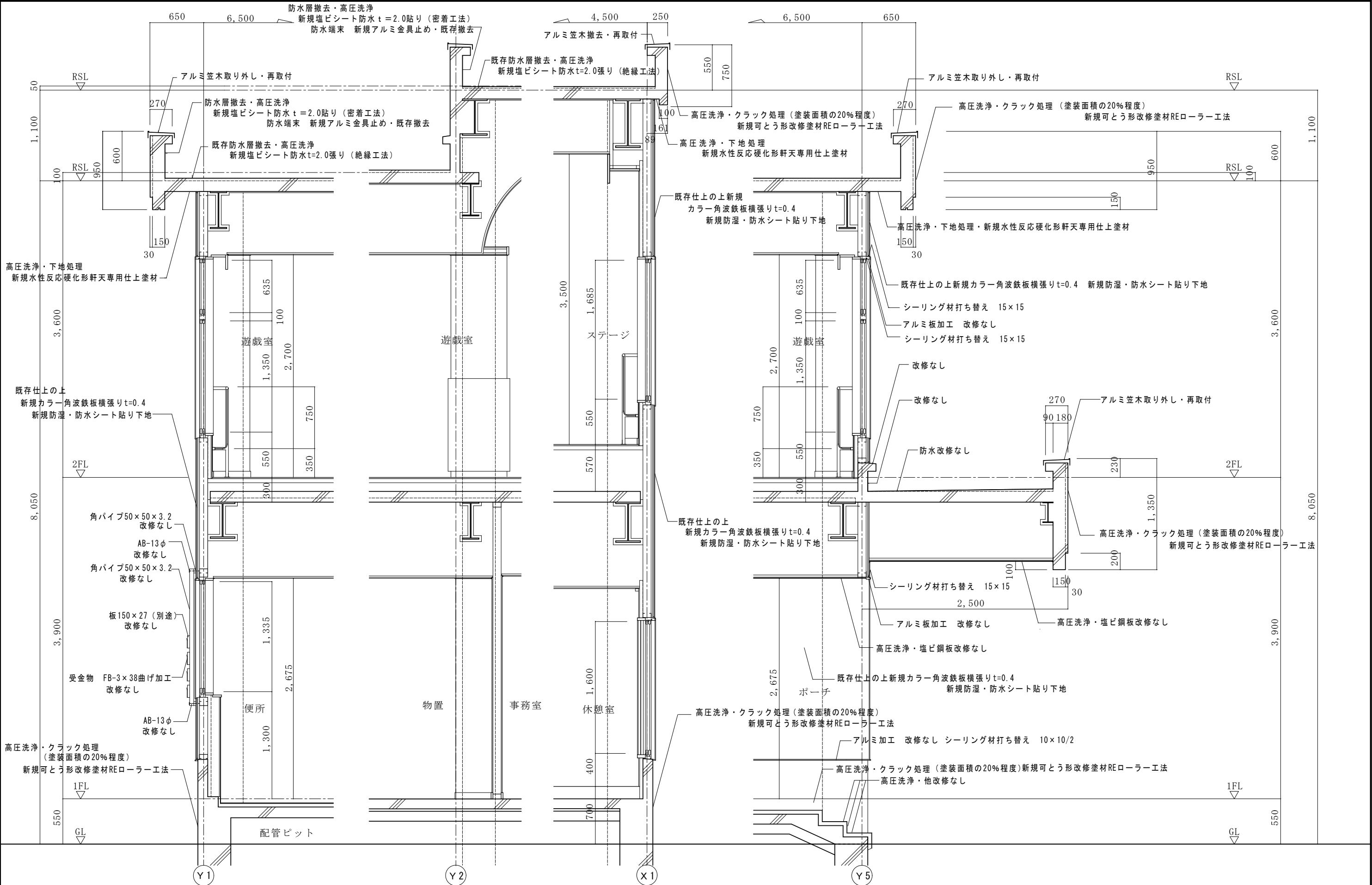
	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	D - 20
		図面名称	現 況 矩 計 図 1	1 : 30	



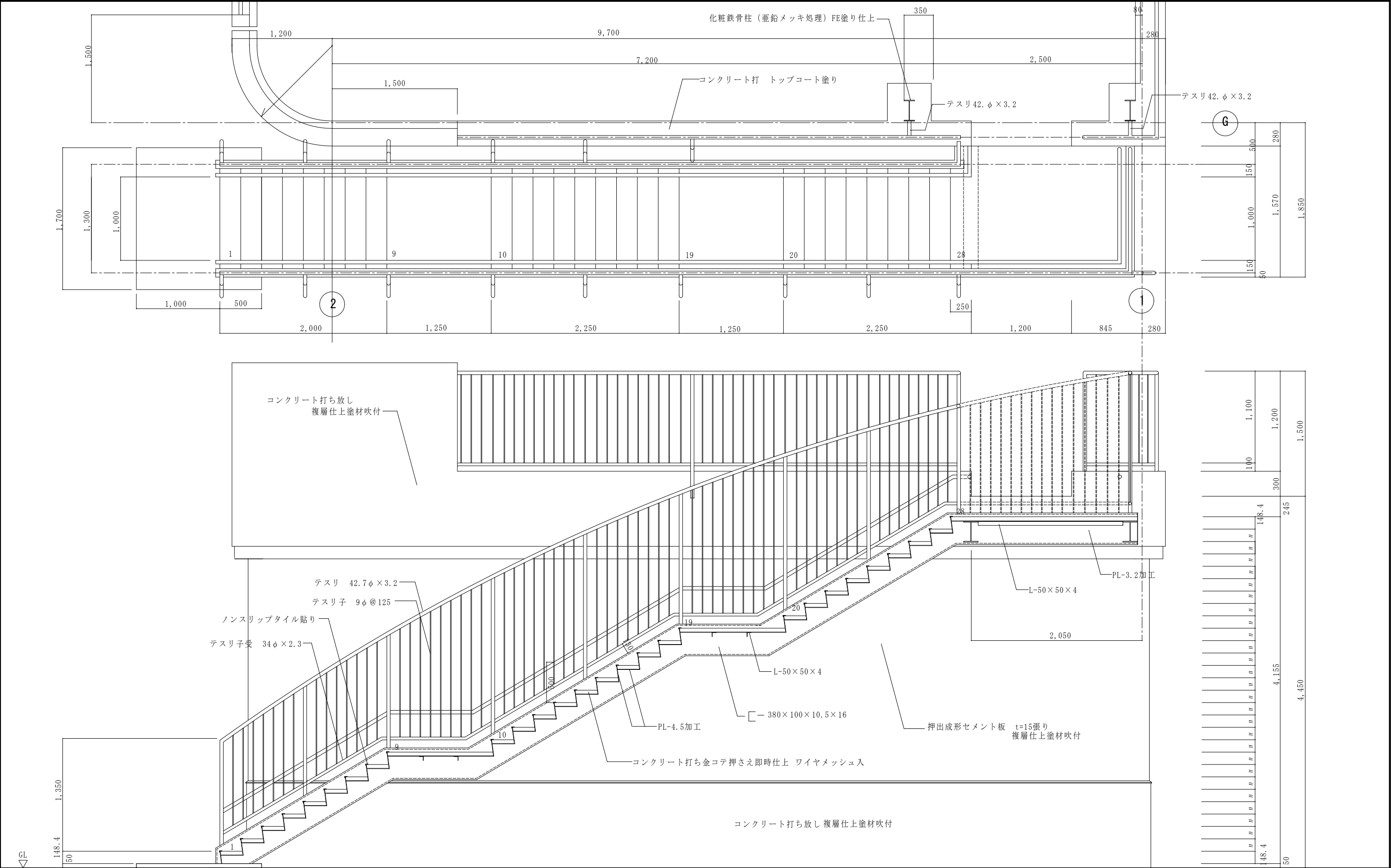
(註) 雪囲い金物の鋼材は全て亜鉛メッキ処理材 仕上はFE塗り	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	R 4 年 5 月 日	D - 21
		図面名称	現況 矩計図 2		縮尺	1 : 30	



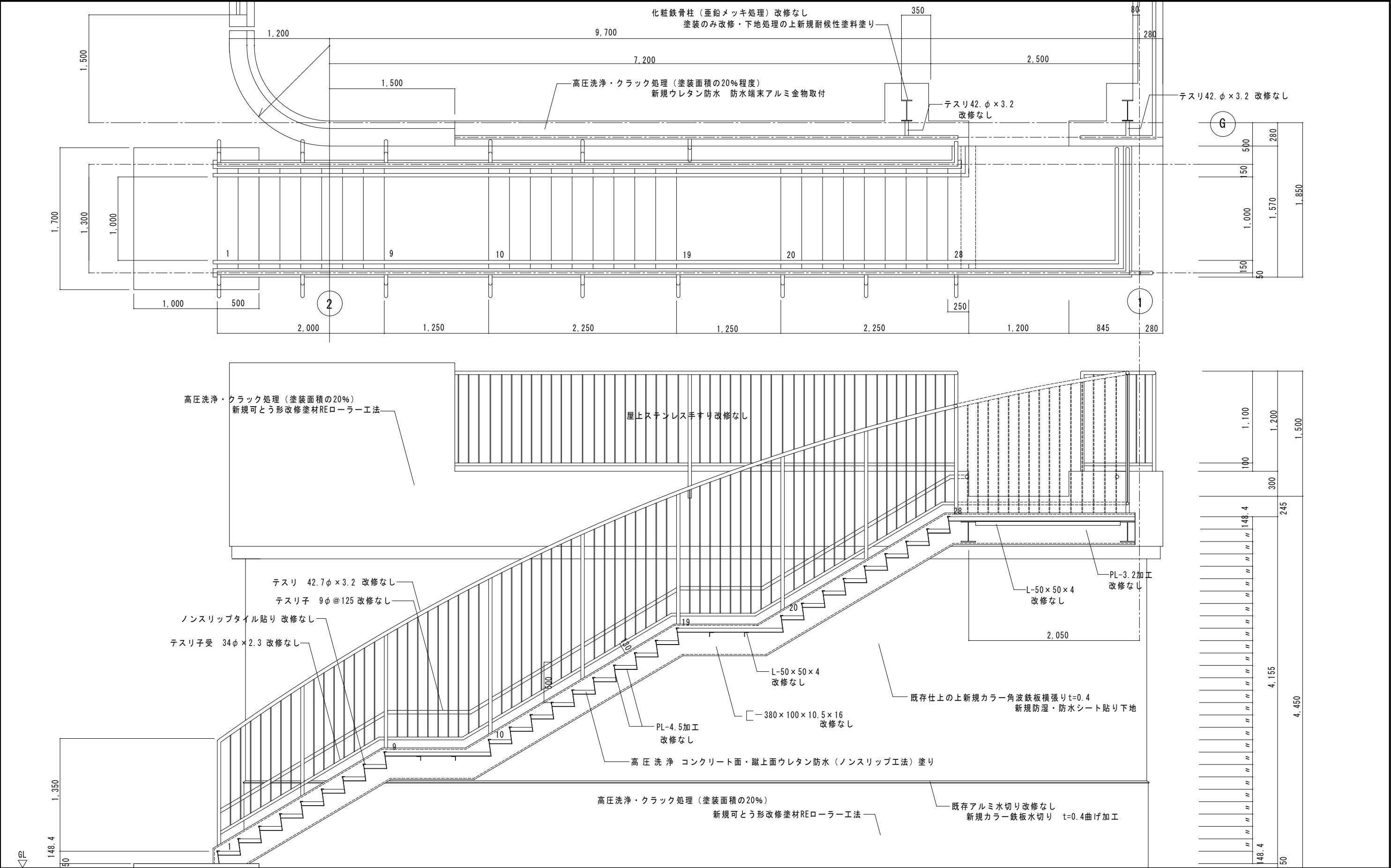
(註) 雪囲い金物は取り外し・再取付・下地処理の上新規耐候性塗料塗り 開口部廻り・外壁廻り見切り・シーリング等の各納まりは詳細図による	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	R 4 年 5 月 日	D - 23
		図面名称	改修後 矩計図 1		縮尺	1 : 30	



(註) 雪囲い金物は取り外し・再取付・下地処理の上新規耐候性塗料塗り 開口部廻り・外壁廻り見切り・シーリング等の各納まりは詳細図による	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	R 4 年 5 月 日	D - 24
		図面名称	改修後 矩計図 2		縮尺	1 : 30	



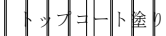
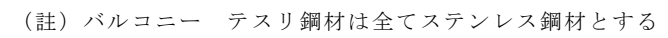
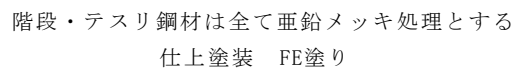
		(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	D - 26
			図面名称	現 況 A 外 部 階 段 平 面 詳 細 ・ 断 面 図	縮尺	



(註) 外部階段・2階屋上の改修範囲は①・②通り間のF・G通り間とする 見え掛りコンクリート面は全て高圧洗浄とする 外部階段床・蹴上面全てウレタンノンスリップ塗膜防水施工とする 屋上防水は既存高圧洗浄・下地処理の上新規ウレタン塗膜防水 (X-1) 工法

屋上笠木 高圧洗浄新規ウレタン塗膜防水 防水端末アルミ金物取付	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 28
		図面名称		縮尺		

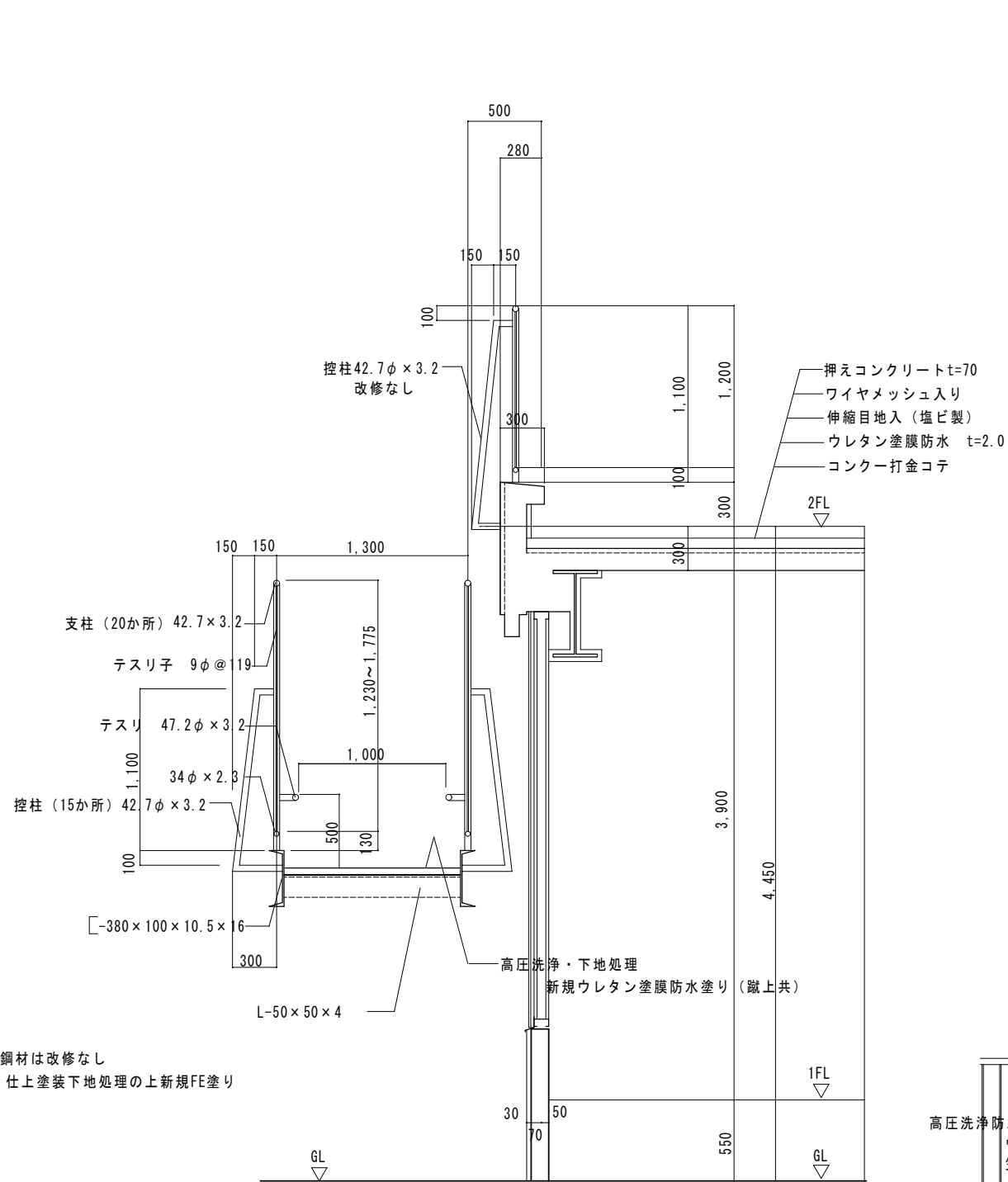
2階屋上ステンレス手すりは改修なし 2階屋上の化粧鉄骨柱・階段鋼材は全て亜鉛メッキ処理塗装のみ改修 下地処理の上新規耐候性塗料塗り 改修後 A 外部階段平面詳細・断面図 1 : 30



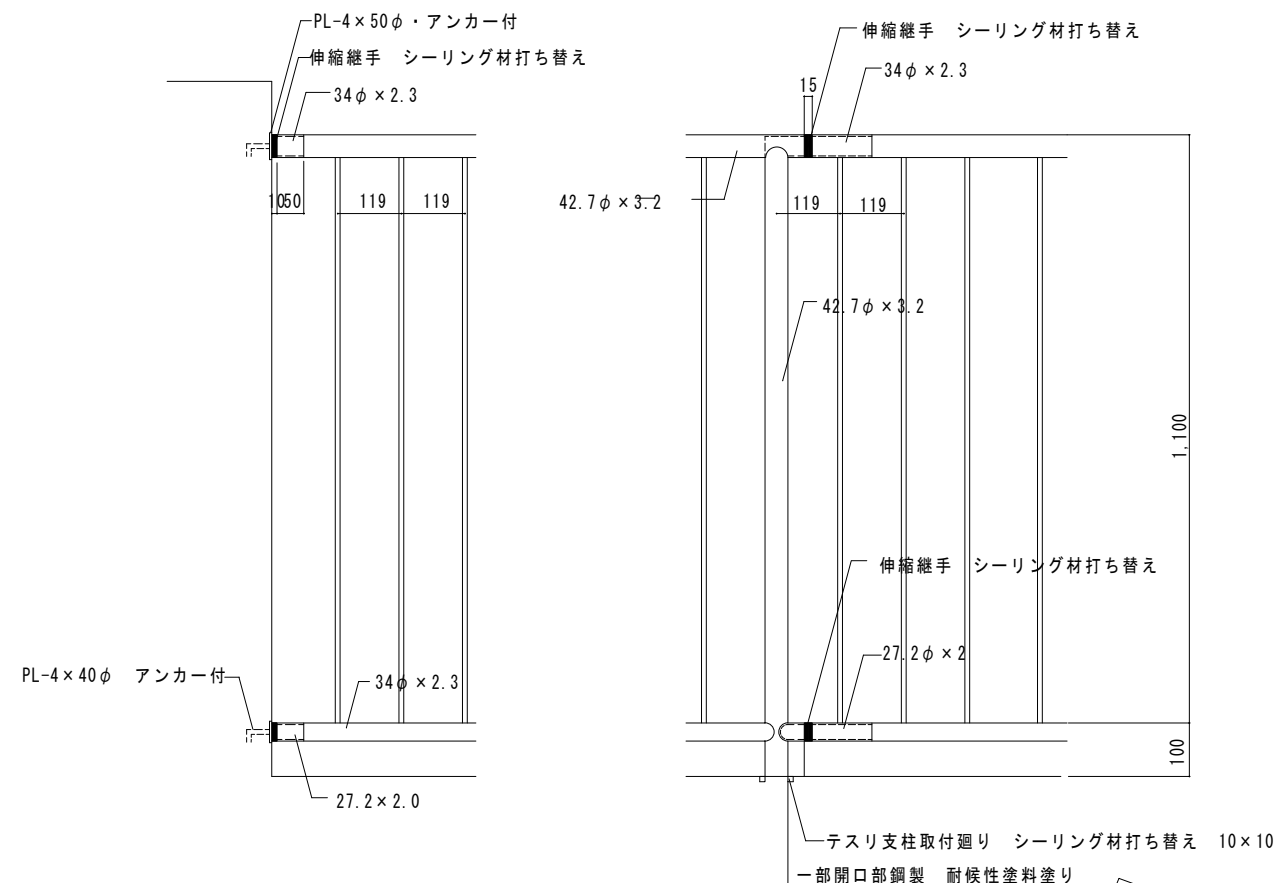
(株) 星野設計事務所
1級建築士 登録第171414 渡邊陽一

ふたば東保育園外部改修工事

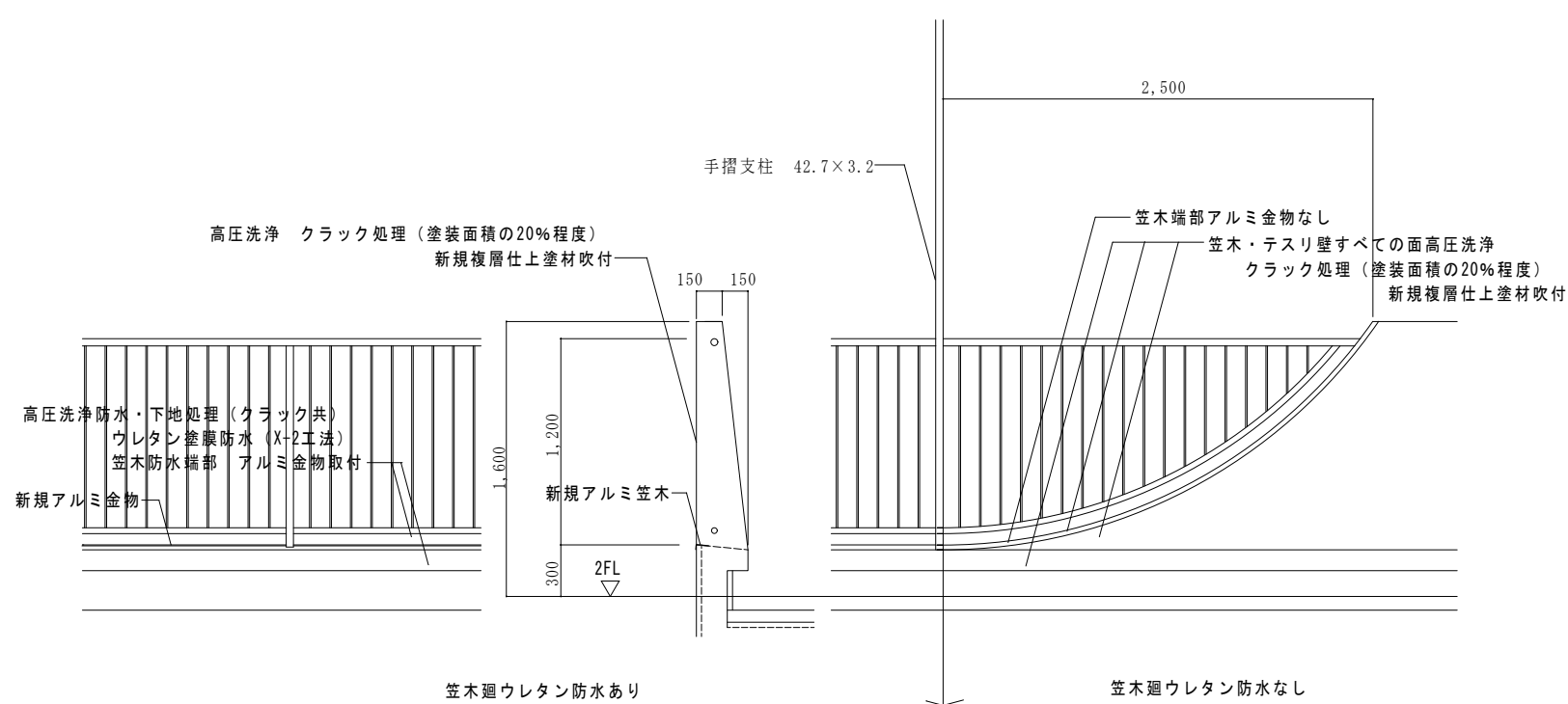
現況 外部階段断面矩計図



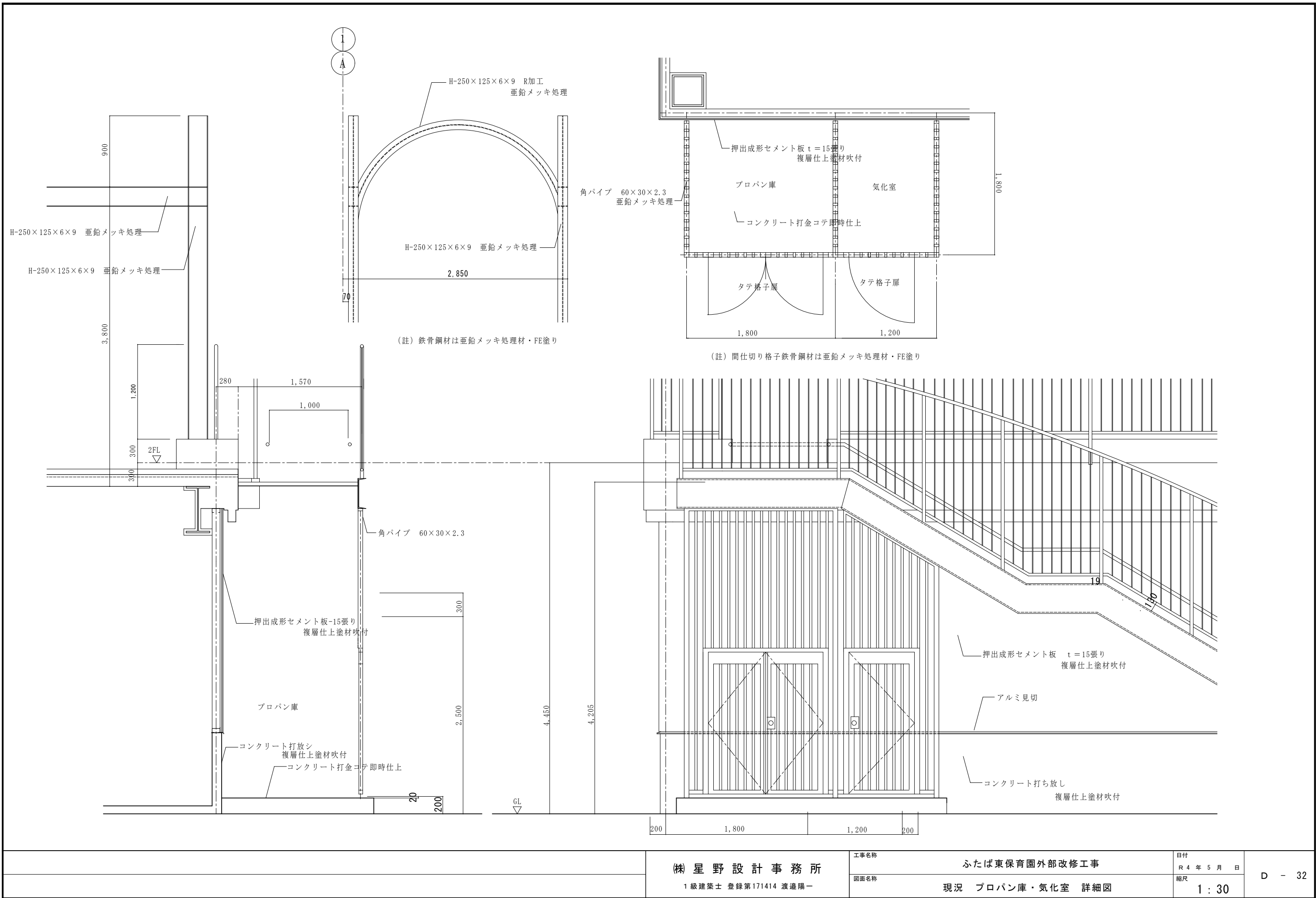
階段・テスリ鋼材は改修なし
仕上塗装下地処理の上新規FE塗り

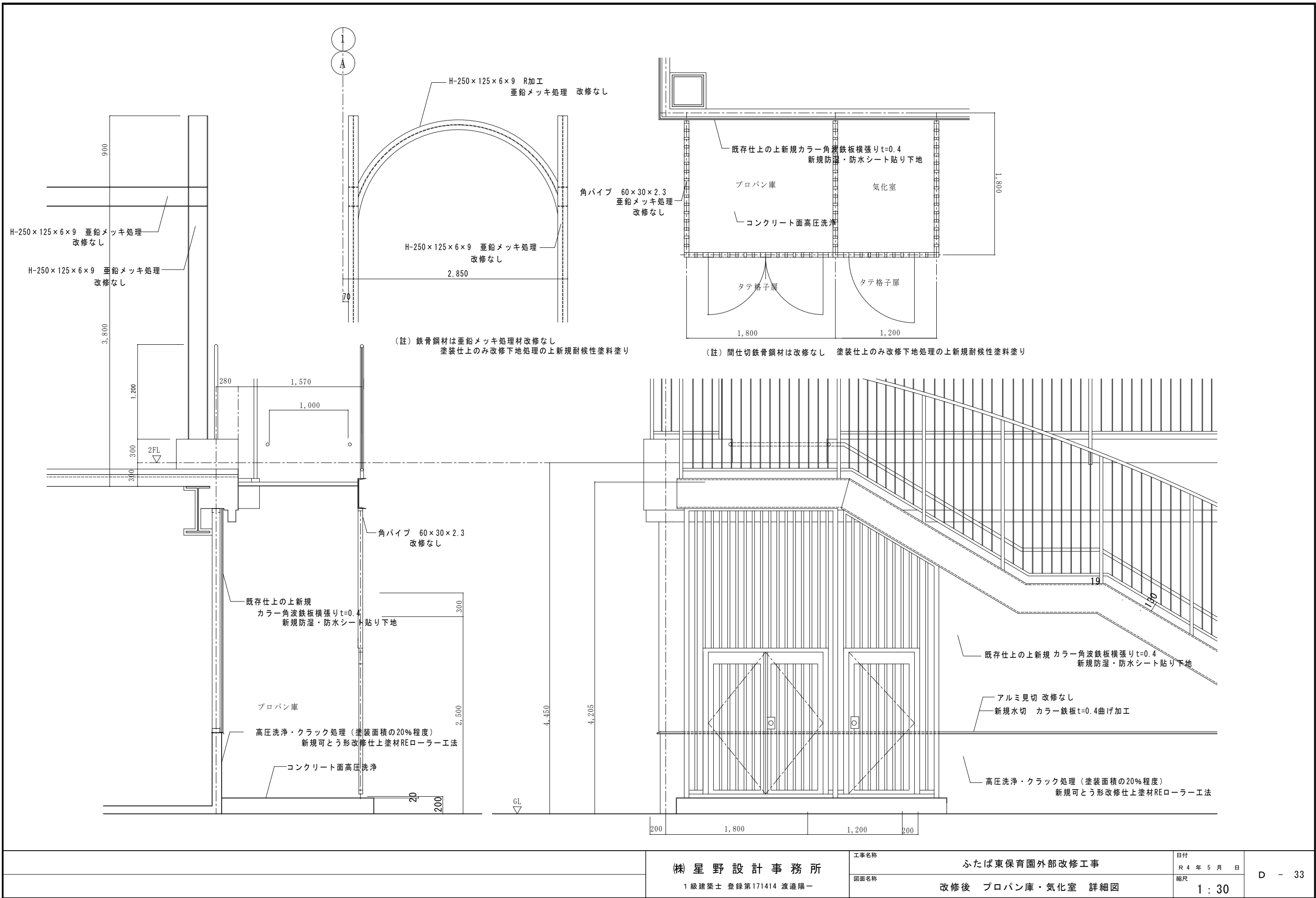


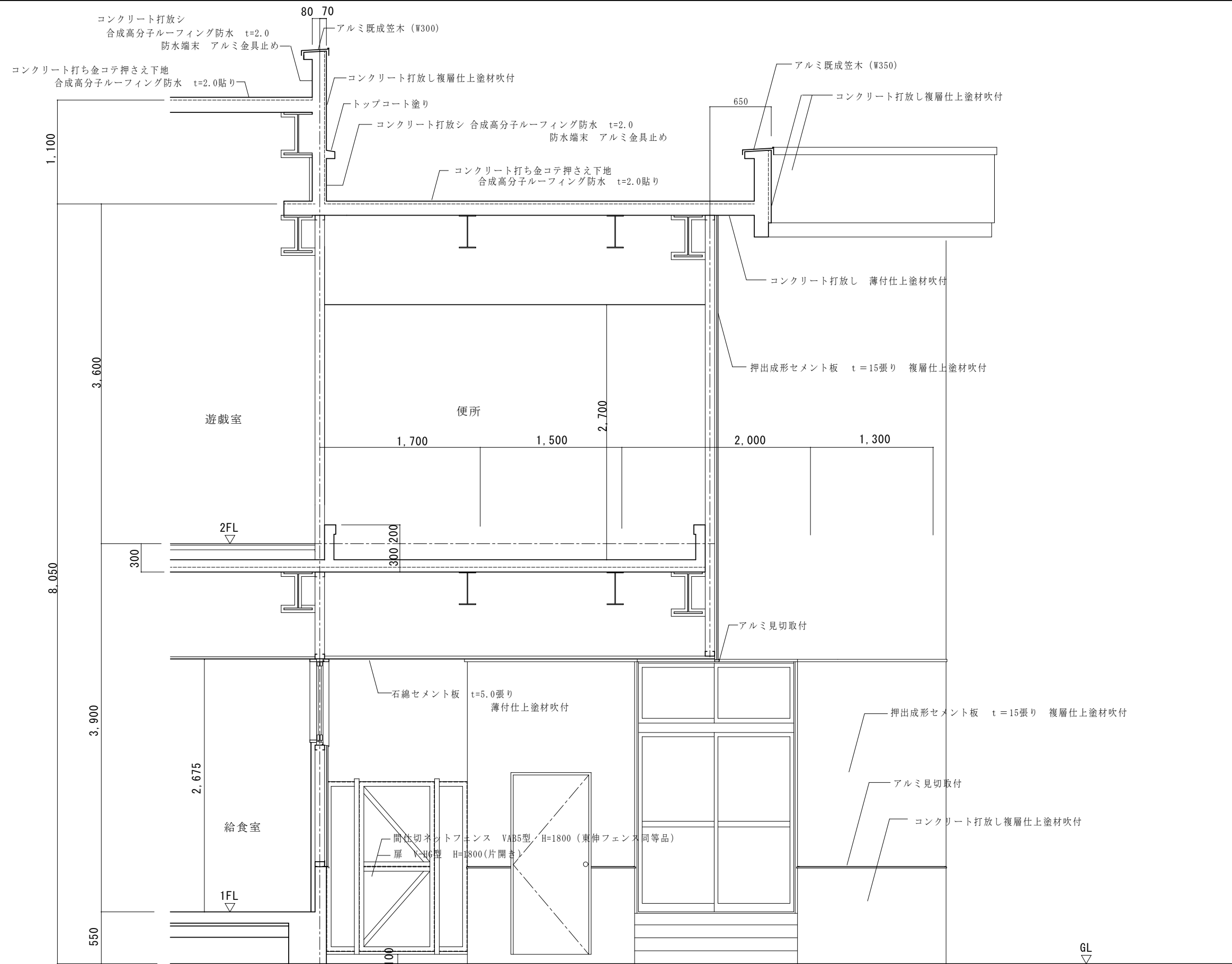
(註) バルコニー テスリは改修なし



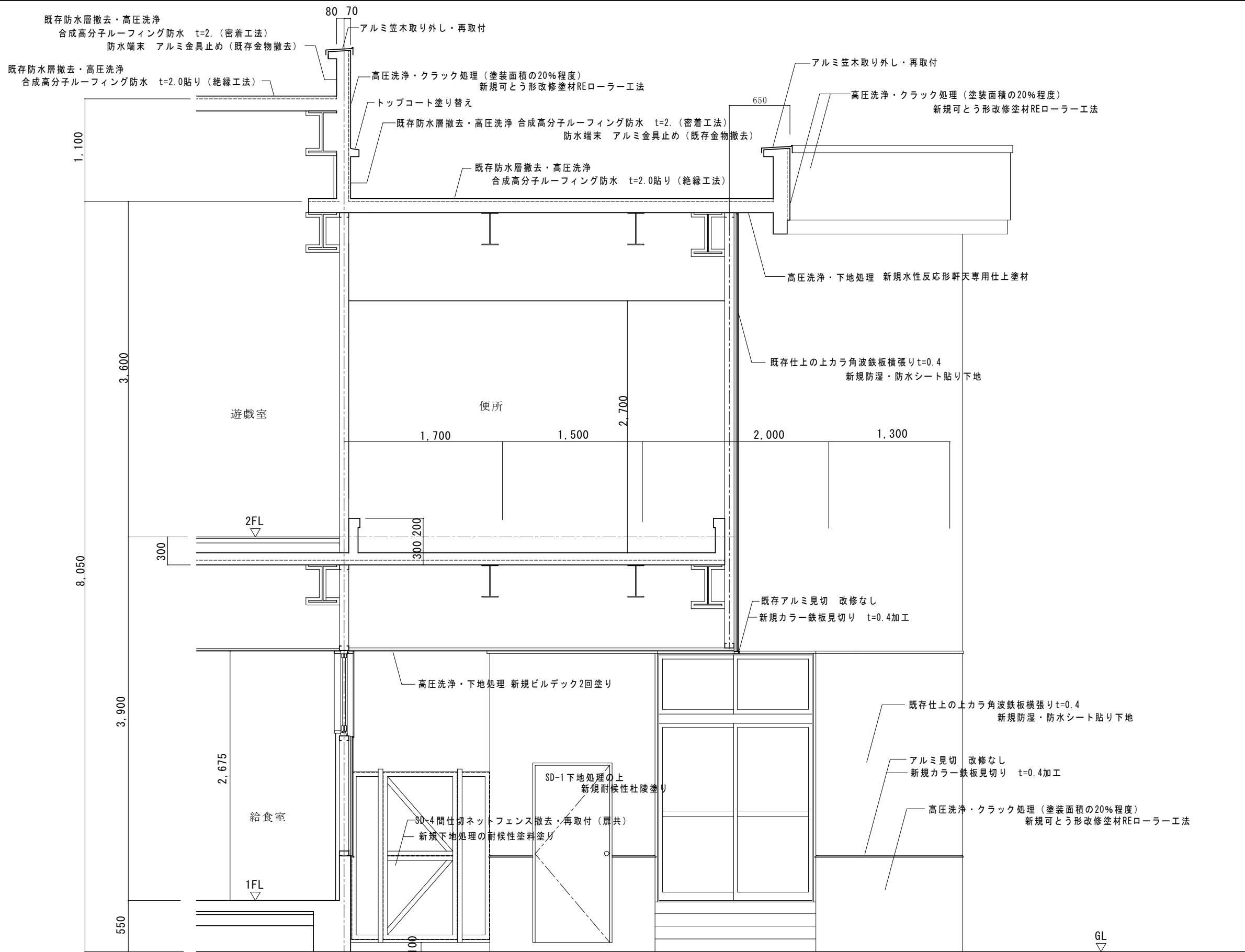
	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事		日付	R 4 年 5 月 日	D - 31
		図面名称	改修後 外部階段断面矩計図		縮尺	1 : 30	



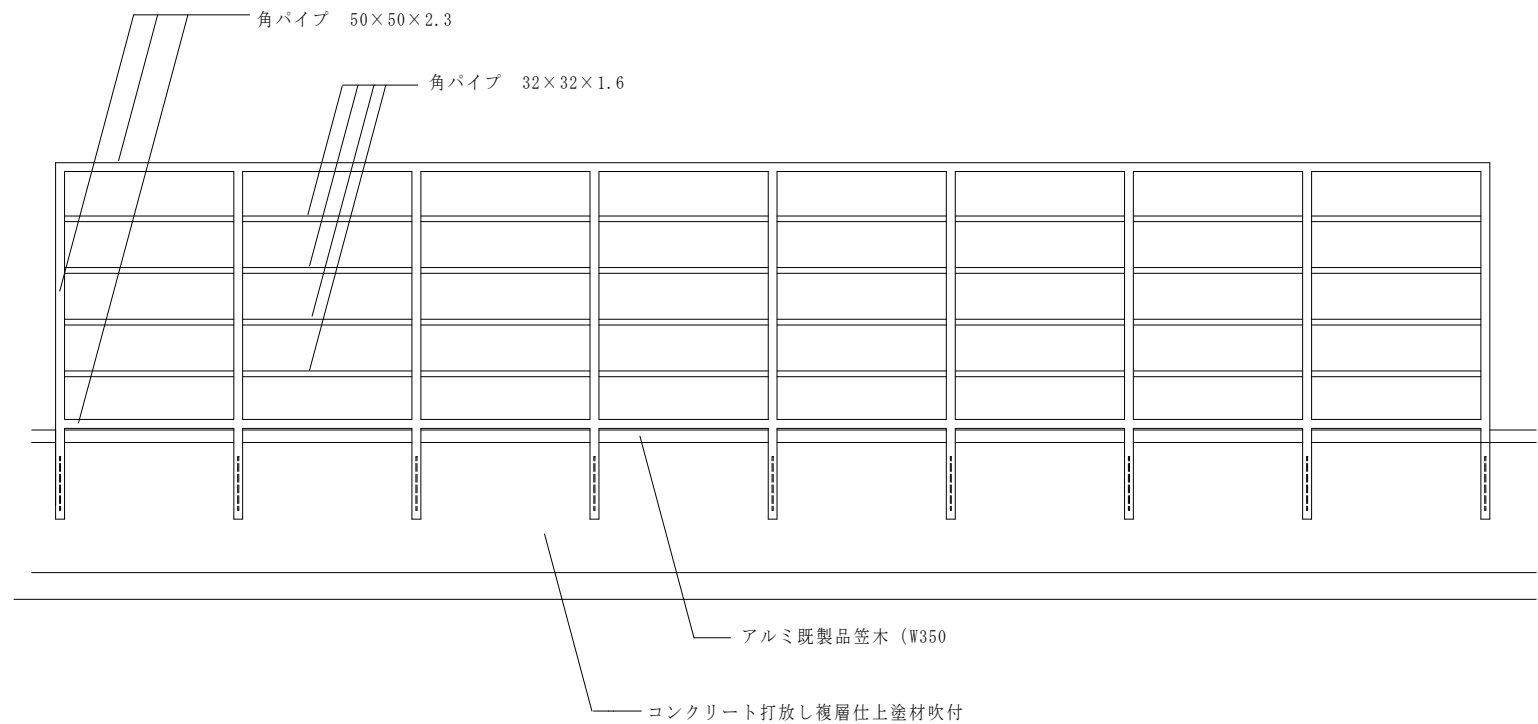
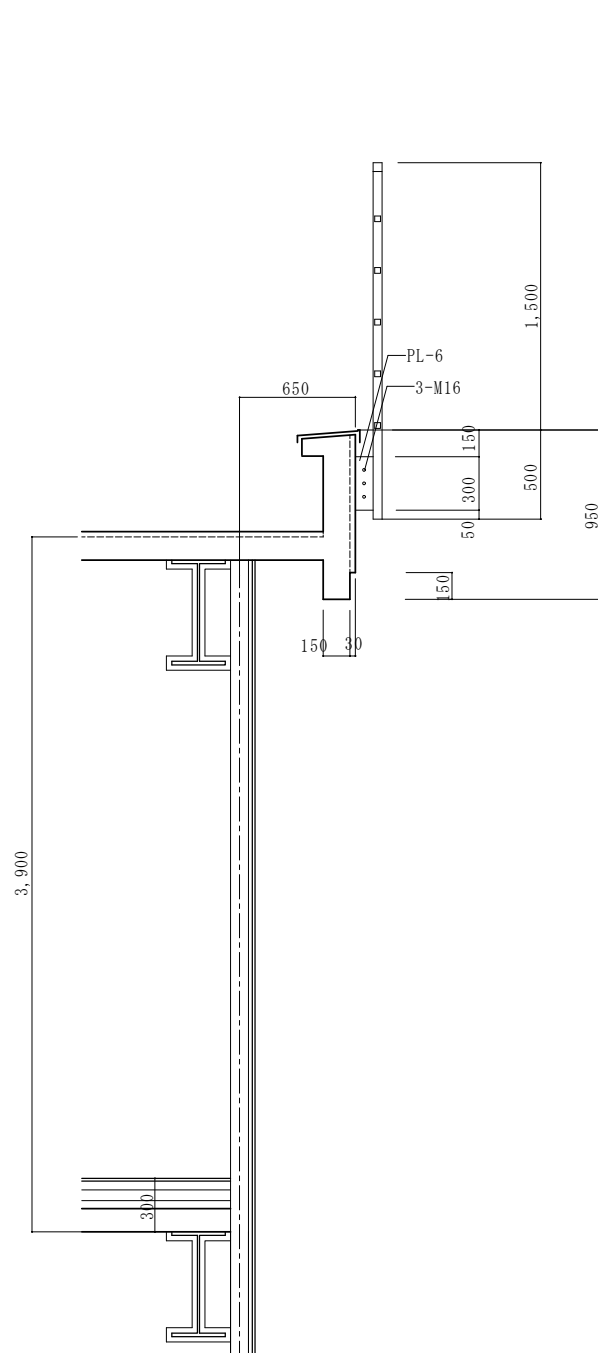




	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 34
		図面名称	現況 給食室・便所 矩計詳細図	縮尺	1 : 30	

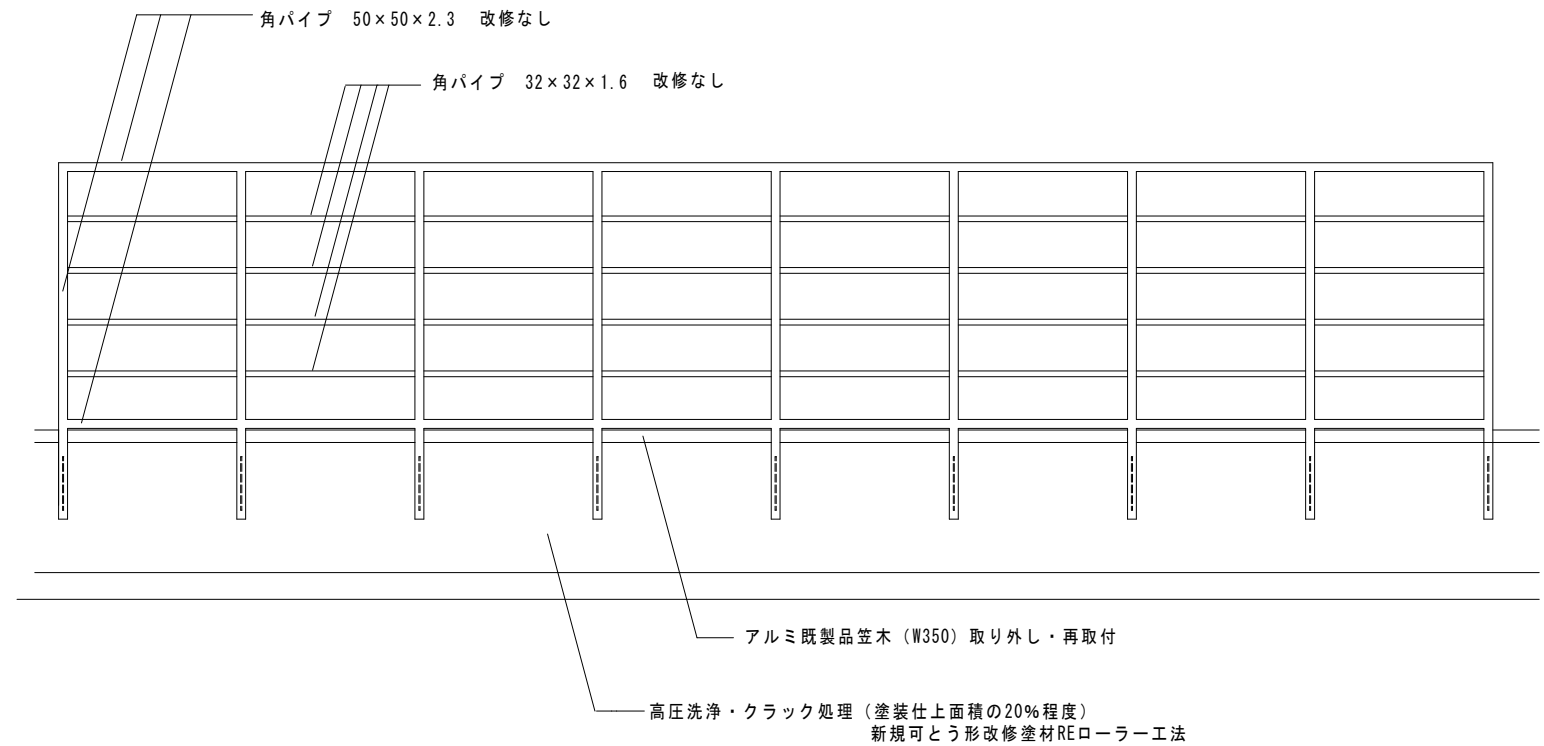
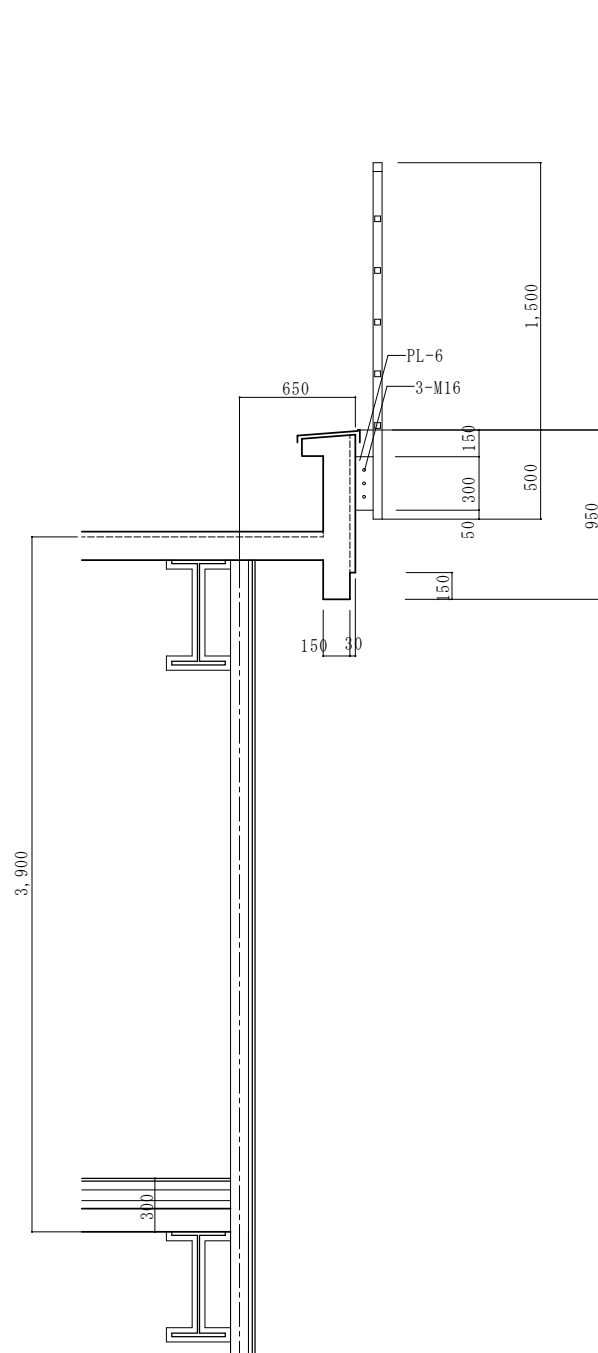


	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 35
		図面名称	改修後 給食室・便所 矩計詳細図	縮尺	1 : 30	



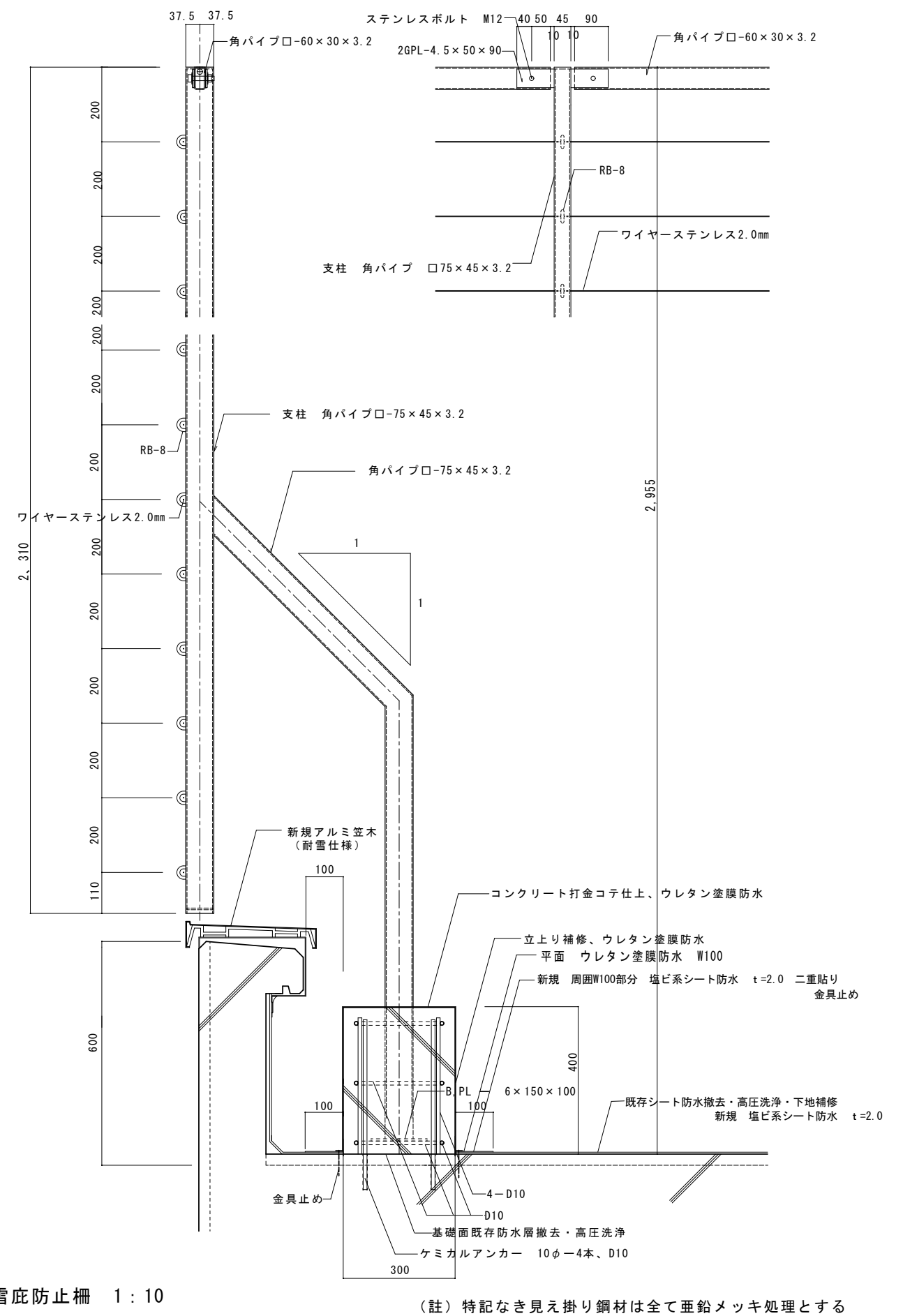
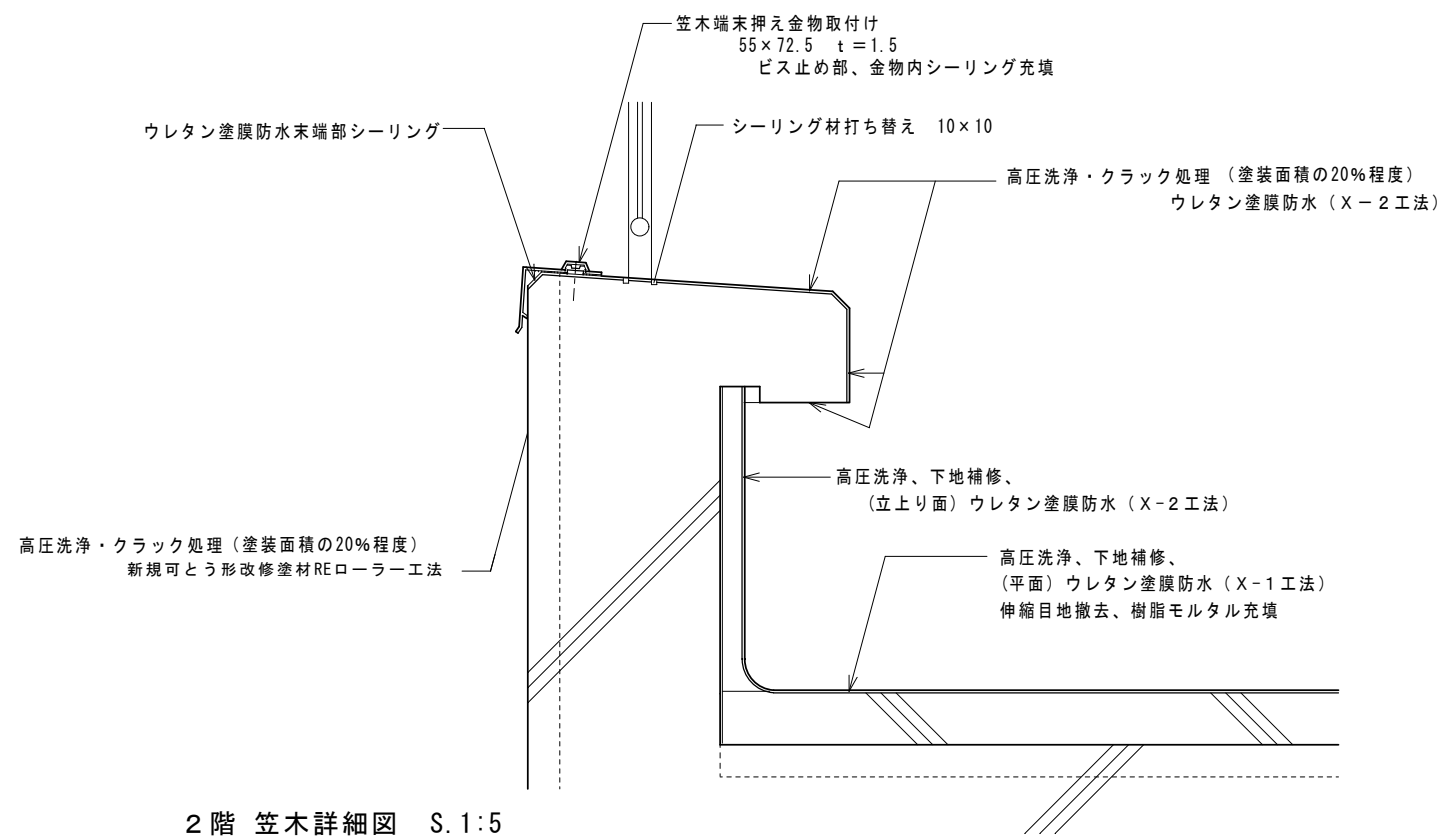
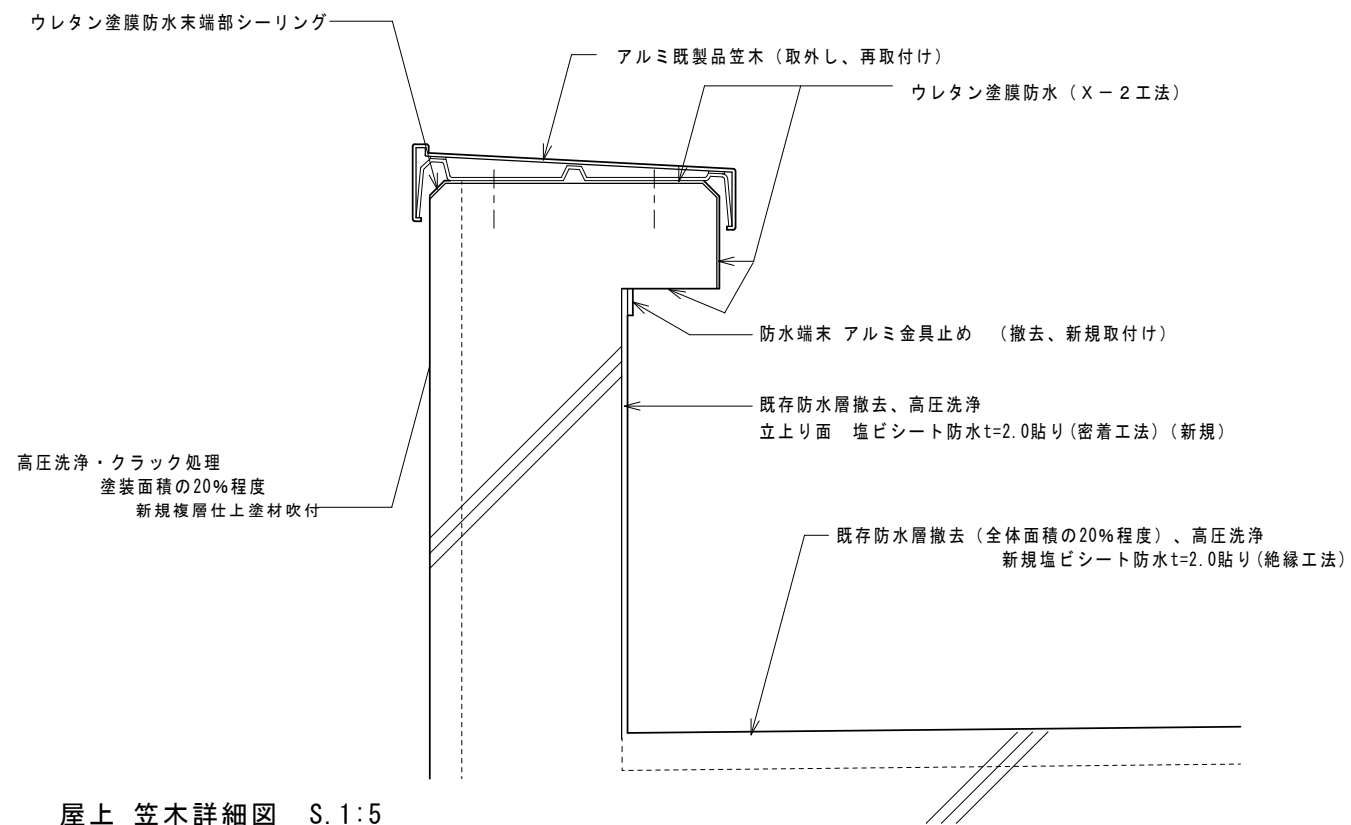
(註) 雪庇防止柵は全て亜鉛メッキ処理剤使用 FE塗り仕上

	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 36
		図面名称	現況 雪庇防止柵詳細図	1 : 30	1 : 30	



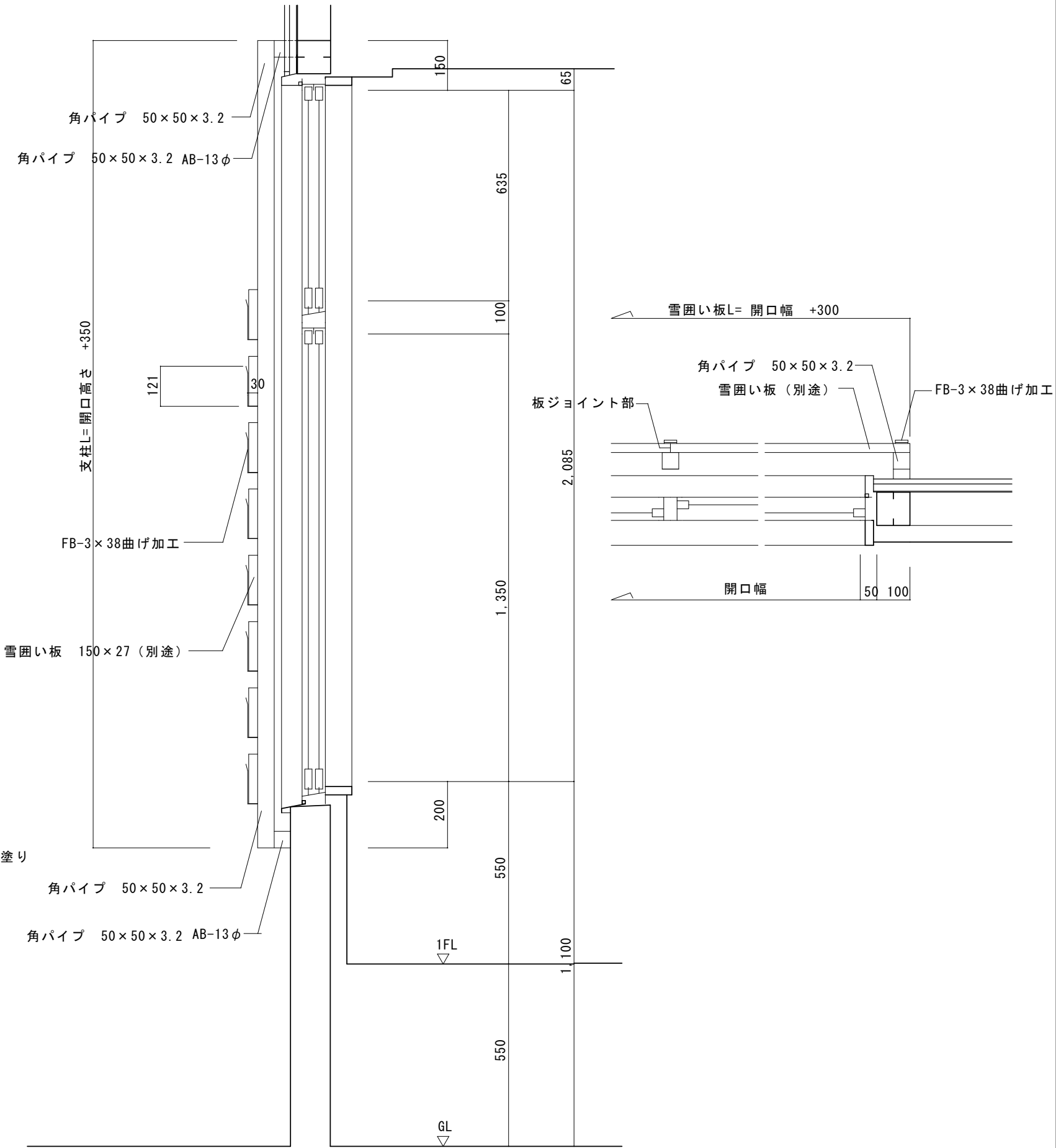
(註) 雪庇防止柵鋼材改修なし 塗装仕上のみ改修・下地処理の上新規耐候性塗料塗りFE塗り

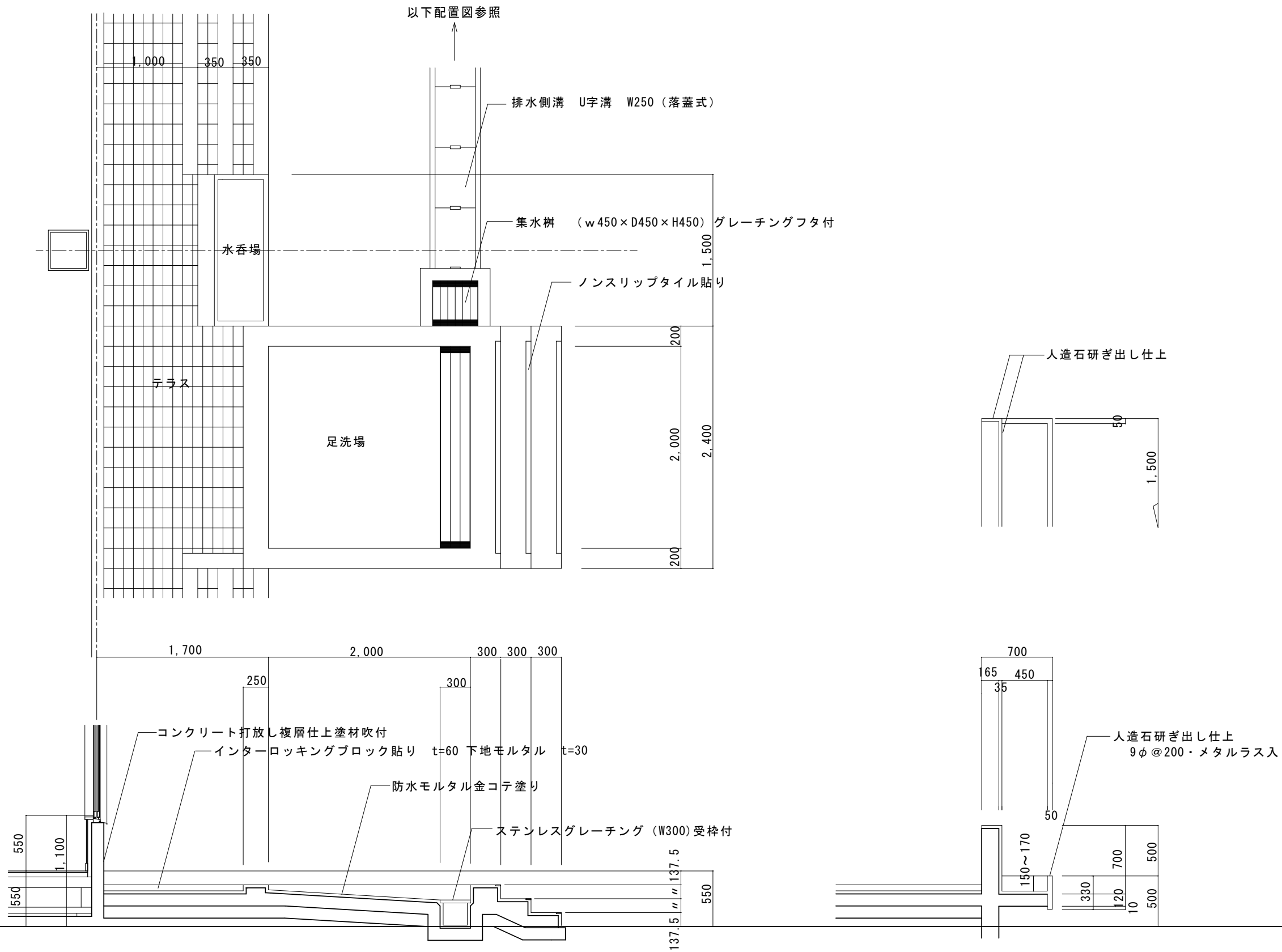
	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称	ふたば東保育園外部改修工事	日付	R 4 年 5 月 日	D - 37
		図面名称	改修後 雪庇防止柵詳細図	1 : 30	1 : 30	



開口部	ヶ所数	支柱長さ及び本数	雪囲い板金物・板及段数及び長さ
AW-3	1ヶ所	支柱 L=2,435 4本	雪囲い板 8段 L=6,150
AW-4	1ヶ所	支柱 L=2,435 4本	雪囲い板 8段 L=5,650
AW-12	1ヶ所	支柱 L=1,685 3本	雪囲い板 4段 L=3,970
AW-13	3ヶ所	支柱 L=2,150 3本	雪囲い板 6段 L=1,100
AW-14	1ヶ所	支柱 L=2,150 3本	雪囲い板 8段 L=3,970
AW-15	1ヶ所	支柱 L=1,950 3本	雪囲い板 6段 L=3,590
AW-16	1ヶ所	支柱 L=1,950 2本	雪囲い板 6段 L=2,100
AW-17	1ヶ所	支柱 L=1,700 4本	雪囲い板 8段 L=5,650

(註) 連窓の場合雪囲い板は各支柱部分で接続する
雪囲い鋼材は全て亜鉛メッキ処理・FE塗り（現況）
雪囲い金物取り外し・再取付・雪囲い金物は塗装仕上のみ改修下地処理の上新規耐候性塗料塗り





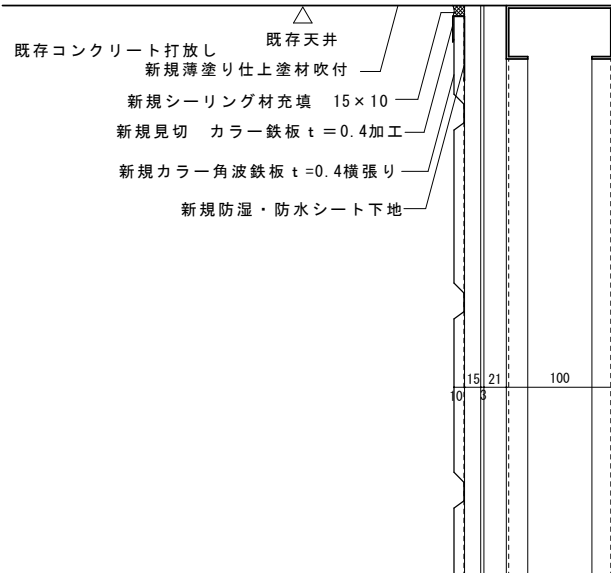
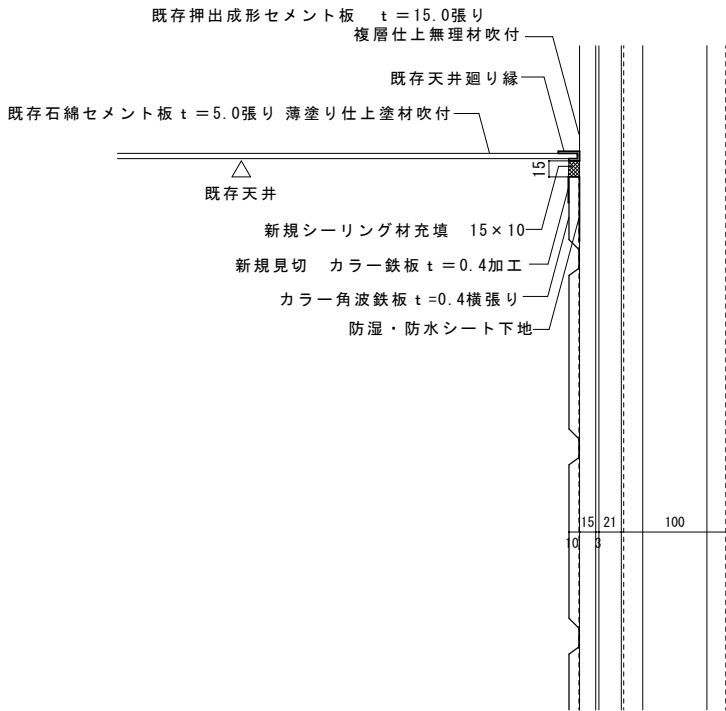
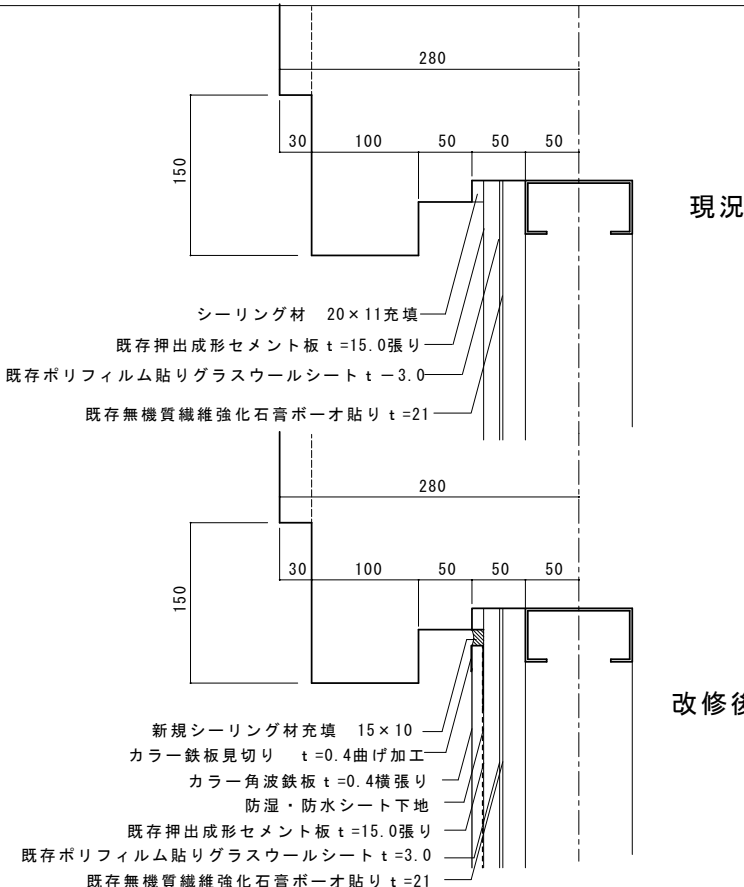
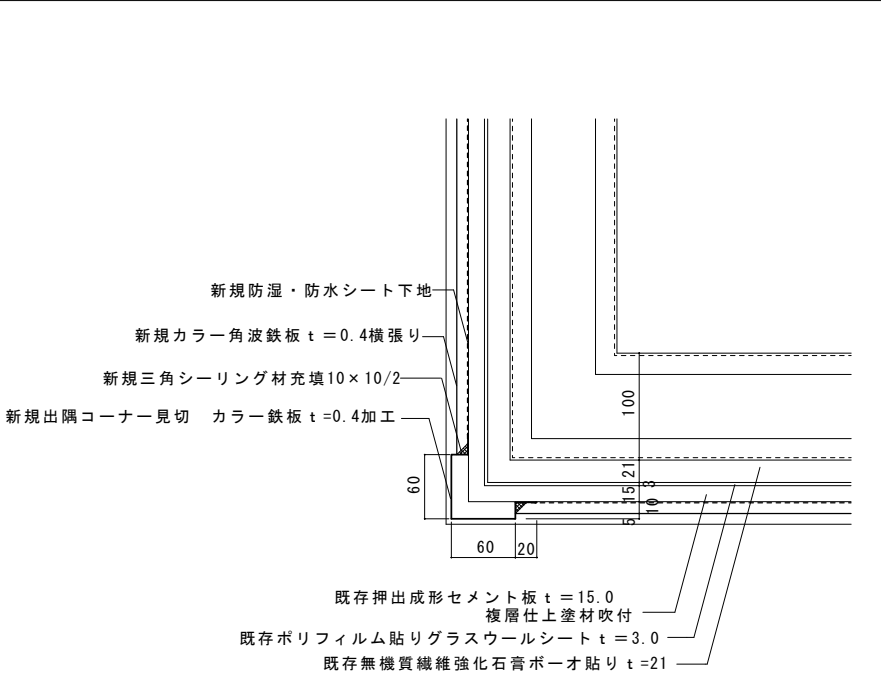
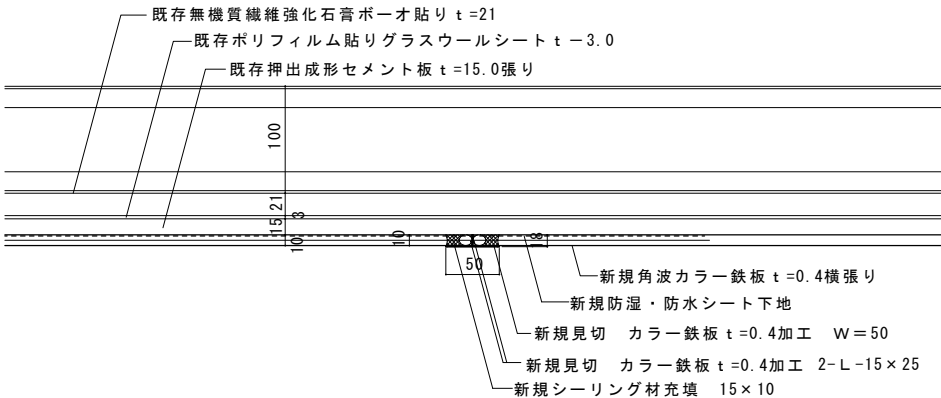
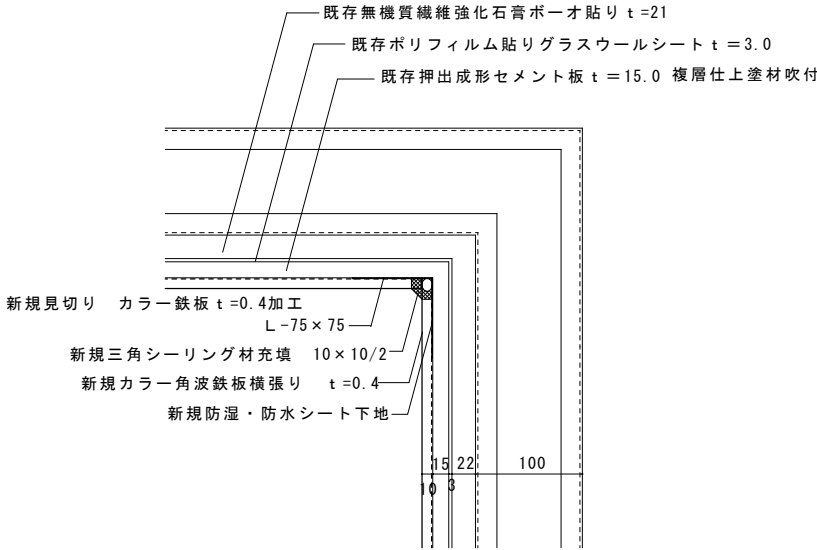
(註) 外部見え掛り部分全て高圧洗浄他は改修なし

(株) 星 野 設 計 事 務 所
1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一

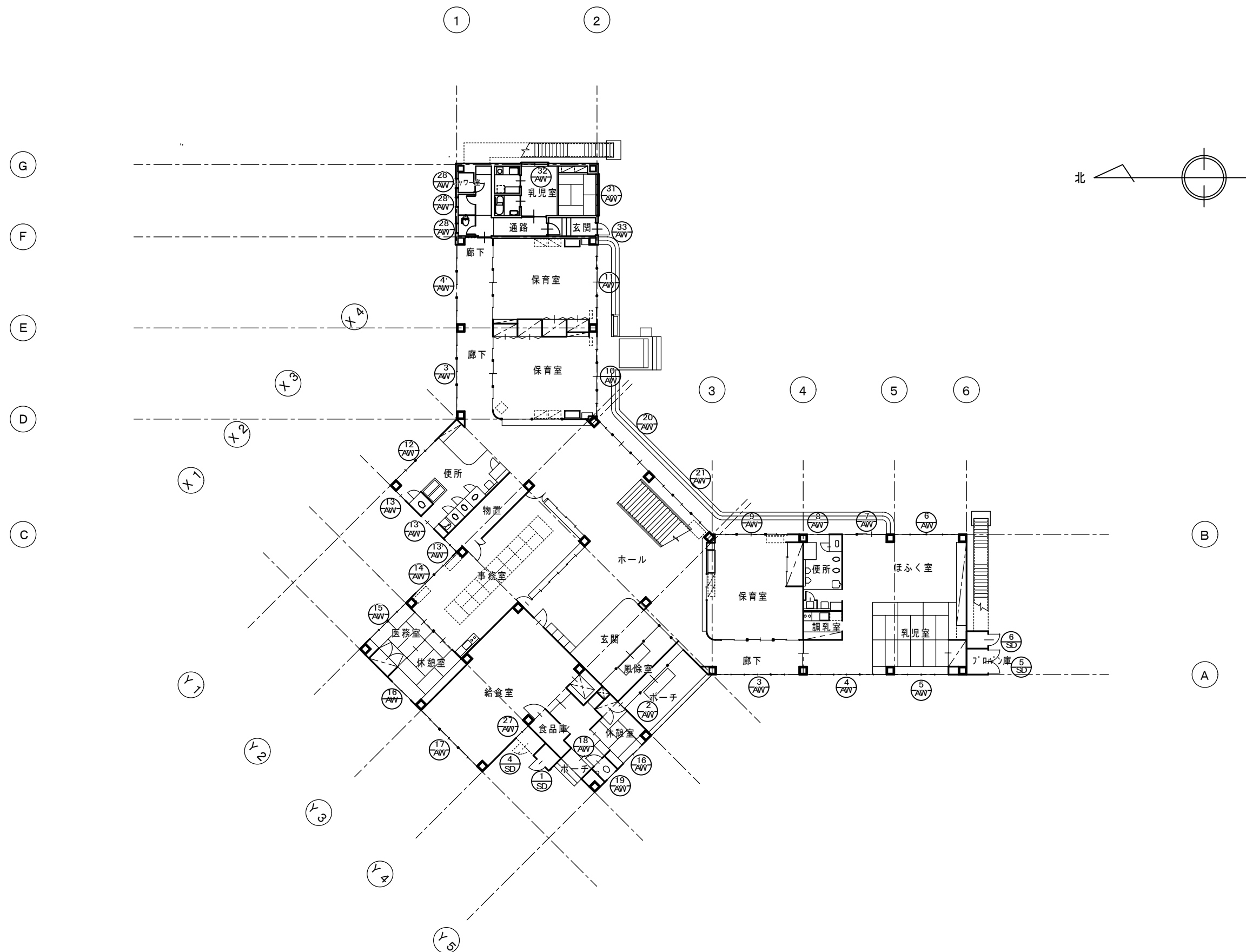
工事名称 ふたば東保育園外部改修工事
図面名称 現況 犬走・足洗場・水呑場 詳細図

日付 R 4 年 5 月 日
縮尺 1 : 30

<p>現況 2階開口部廻り納まり</p>	<p>現況 1階開口部廻り納まり</p>	<p>現況 地覆廻納まり</p>
<p>改修後 2階開口部廻り納まり</p>	<p>改修後 1階開口部廻り納まり</p>	<p>改修後 地覆廻納まり</p>
<p>(註) 既存開口部廻り見切及び土台見切はアルミ板曲加工品</p>	<p>(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一</p>	<p>工事名称 ふたば東保育園外部改修工事 図面名称 改修前・改修後開口廻り納まり図</p> <p>日付 R 4 年 5 月 日 縮尺</p> <p>D - 41</p>

天井廻り納まり	笠木廻り	改修後 ジョイント部納まり		
<div><p>既存コンクリート打放し 新規薄塗り仕上塗材吹付 新規シーリング材充填 15×10 新規見切 カラー鉄板 t=0.4加工 新規カラー角波鉄板 t=0.4横張り 新規防湿・防水シート下地</p></div> <p>天井なし</p> <div><p>既存押出成形セメント板 t=15.0張り 複層仕上無理材吹付 既存天井廻り縁 既存石綿セメント板 t=5.0張り 薄塗り仕上塗材吹付 △ 既存天井 新規シーリング材充填 15×10 新規見切 カラー鉄板 t=0.4加工 カラー角波鉄板 t=0.4横張り 防湿・防水シート下地</p></div> <p>天井あり</p>	<div><p>現況 280 30 100 50 50 50 150 シーリング材 20×11充填 既存押出成形セメント板 t=15.0張り 既存ポリフィルム貼りグラスウールシート t=3.0 既存無機質繊維強化石膏ボード貼り t=21</p><p>改修後 280 30 100 50 50 50 150 新規シーリング材充填 15×10 カラー鉄板見切り t=0.4曲げ加工 カラー角波鉄板 t=0.4横張り 防湿・防水シート下地 既存押出成形セメント板 t=15.0張り 既存ポリフィルム貼りグラスウールシート t=3.0 既存無機質繊維強化石膏ボード貼り t=21</p></div> <p>改修後 出隅部納まり</p> <div><p>新規防湿・防水シート下地 新規カラー角波鉄板 t=0.4横張り 新規三角シーリング材充填10×10/2 新規出隅コーナー見切 カラー鉄板 t=0.4加工 60 20 60 既存押出成形セメント板 t=15.0 複層仕上塗材吹付 既存ポリフィルム貼りグラスウールシート t=3.0 既存無機質繊維強化石膏ボード貼り t=21</p></div>	<div><p>既存無機質繊維強化石膏ボード貼り t=21 既存ポリフィルム貼りグラスウールシート t=3.0 既存押出成形セメント板 t=15.0張り 100 15 21 10 50 新規角波カラー鉄板 t=0.4横張り 新規防湿・防水シート下地 新規見切 カラー鉄板 t=0.4加工 W=50 新規見切 カラー鉄板 t=0.4加工 2-L-15×25 新規シーリング材充填 15×10</p></div> <p>改修後 入隅部納まり</p> <div><p>既存無機質繊維強化石膏ボード貼り t=21 既存ポリフィルム貼りグラスウールシート t=3.0 既存押出成形セメント板 t=15.0 複層仕上塗材吹付 新規見切り カラー鉄板 t=0.4加工 L-75×75 新規三角シーリング材充填 10×10/2 新規カラー角波鉄板横張り t=0.4 新規防湿・防水シート下地 15 22 10 3 100</p></div>		
(註) 既存仕上面は全て高圧水洗浄を行うこと	(株) 星 野 設 計 事 務 所 1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一	工事名称 ふたば東保育園外部改修工事 図面名称 外部納まり詳細図	日付 R 4 年 5 月 日 縮尺 1 : 5	D - 42

現況 2階開口部廻り納まり		下り天井廻り取合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		改修後	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	
改修後 2階開口部廻り納まり		コンクリート笠木廻り取り合い	



	(株) 星野設計事務所 1級建築士 登録第171414 渡邊陽一	工事名称 ふたば東保育園外部改修工事	日付 R 4 年 5 月 日	D - 44
		図面名称 現況 1階建具伏図	縮尺 1:200	

記号・型式	<div>2</div> <div>AW</div> 引き分け戸及び嵌め殺し窓	<div>3</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>4</div> <div>AW</div> <div>4</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>5</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>6</div> <div>AW</div> 引き違い窓
位置・数量	ポーチ1	廊下4	廊下・ほふく室AW-4 3ヶ所・AW4-1ヶ所	ほふく室1	ほふく室1
仕上	アルミニウムアルマイト仕上	同左	同左	同左	同左
ガラス	6.8mm縦線入りトーマイ・ランマ 3.0トーマイ	3.0トーマイ	同左	同左	同左
金物	標準金物一式 内外3方アルミ額縁 35×25 丁双ステンレス ステンレス握り棒	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル 水切板 L=50	同左	同左	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル 同左
施錠	シリンダー錠	クレセント	クレセント AW4ノミ上部引き違い窓オペレーター装置付	クレセント	クレセント 上部引き違い窓オペレーター装置付
見込・備考	70 (ハイフロント同等品)	70	70	70	70
記号・型式	<div>7</div> <div>AW</div> 引き違い戸及び嵌め殺し窓	<div>8</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>9</div> <div>AW</div> 引き違い戸及び引き違い窓	<div>10</div> <div>AW</div> 引き違い戸及び引き違い窓	<div>11</div> <div>AW</div> 引き違い戸及び引き違い窓
位置・数量	ほふく室1	便所1	保育室1	保育室3	保育室3
仕上	アルミニウムアルマイト仕上	同左	同左	同左	同左
ガラス	3.トーマイ・出入口引き違い戸 6.8mm縦線入りトーマイ	3.0トーマイ	3.トーマイ・出入口引き違い戸 6.8mm縦線入りトーマイ	同左	同左
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル 水切板 L=50 出入口下枠 ステンレス	同左 水切板 L=50	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル 水切板 L=50 出入口下枠 ステンレス	同左	同左
施錠	クレセント	クレセント	クレセント上部引き違い窓オペレーター装置付 (両サイド)	同左	同左
見込・備考	70	70	70	70	70
記号・型式	<div>12</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>13</div> <div>AW</div> <div>13</div> <div>AW</div> 片開き窓及び嵌め殺し窓	<div>14</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>15</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>16</div> <div>AW</div> <div>16</div> <div>AW</div> 引き違い窓
位置・数量	便所1	便所AW-13 2ヶ所・AW13-1ヶ所	事務室1	医務室1	休憩室・ステージAW-16 1ヶ所・AW16-2ヶ所
仕上	アルミニウムアルマイト仕上	同左	同左	同左	同左
ガラス	3.0トーマイ	同左	5.0トーマイ	5.0トーマイ	5.0トーマイ
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル 水切板 L=50	同左 同左	同左 同左	同左 同左	同左 同左
施錠	クレセント	同左	同左	同左	同左
見込・備考	70	70	70	70	70
			(株) 星野設計事務所 1級建築士 登録第171414 渡邊陽一		工事名称 ふたば東保育園外部改修工事 図面名称 現況 建具表 1
					日付 R 4 年 5 月 日 縮尺
					D - 46

記号・型式	<div>17</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>18</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>19</div> <div>AW</div> 片開き窓及び嵌め殺し窓	<div>20</div> <div>AW</div> 引き違い窓及び外倒し窓及び嵌め殺し窓	<div>21</div> <div>AW</div> 同左
位置・数量	給食室1	検収室1	便所1	ホール1	ホール1
仕上	アルミニウム アルマイト仕上	同左 腰 アルミフラッシュパネル	同左	同左 一部アルミフラッシュパネル	同左
ガラス	4.0型板	3.0トーマイ	4.0型板	3.0トーマイ 最下段Fix及び出入り口戸6.8mm縦線入トーマイ	同左
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	標準金物一式 内外3方アングル	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	同左
施錠	水切板 L=50	下枠 ステンレス 上部引き違い窓オペレーター装置付	水切板 L=50	下枠ステンレス 外倒し窓オペレーター付	同左
見込・備考	クレセント クレセント位置 FL+1,500以内	シリンダー錠	クレセント	クレセント	同左
記号・型式	<div>22</div> <div>AW</div> 引き違い窓及び外倒し窓及び嵌め殺し窓	<div>23</div> <div>AW</div> 同左	<div>24</div> <div>AW</div> 引き違い窓	<div>25</div> <div>AW</div> 引き違い戸及び引き違い窓	<div>26</div> <div>AW</div> 引き違い戸
位置・数量	遊戯室1	遊戯室1	遊戯室2	放送室1	廊下2
仕上	アルミニウム アルマイト仕上 一部アルミフラッシュパネル	同左 同左	同左	同左	同左
ガラス	3.トーマイ・出入口引き違い戸 6.8mm縦線入リトーマイ	同左	3.トーマイ	同左	6.8mm縦線入トーマイ
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	同左	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	同左	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル
施錠	水切板 L=50 出入口下枠 ステンレス	同左	水切板 L=50	同左	水切板 L=50
見込・備考	クレセント	クレセント	クレセント	同左	同左
記号・型式	<div>27</div> <div>AW</div> 外倒し窓	<div>28</div> <div>AW</div> <div>28</div> <div>AW</div> 外倒し窓	<div>30</div> <div>AW</div> 引き違い窓及び嵌め殺し窓	<div>31</div> <div>AW</div>	<div>32</div> <div>AW</div>
位置・数量	給食室1	更衣室・シャワー室 AW-28 2ヶ所・AW28-1ヶ所	遊戯室1		
仕上	アルミニウム アルマイト仕上	同左	同左		
ガラス	4.0型板	同左	3.0トーマイ		
金物	標準金物一式 内4アルミ額縁 外3方アングル	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル	同左		
施錠	水切板 L=50 オペレーター装置付	水切板 L=50 AW-28' ノミオペレーター装置付	水切板 L=50		
見込・備考	クレセント	クレセント	クレセント		
見込・備考	70	70	70		
			(株) 星 野 設 計 事 務 所		工事名称
			1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一		ふたば東保育園外部改修工事
					日付
					R 4 年 5 月 日
					縮尺
					1 : 100
					D - 47
					図面名称
					現 況 建 具 表 2

記号・型式	<div>31 AW</div> 引き違い窓	<div>32 AW</div> 引き違い戸	<div>33 AW</div> 内倒し窓付片開き戸	<div> </div>	<div> </div>
位置・数量	乳児室1	乳児室1	玄関1		
仕上	アルミニウム アルマイト仕上（シルバー）	同 左	同 左		
ガラス	3.0 トーメイ+A12+3.0 トーメイ	同 左	ドア、ランマ：網入り磨き 6.8		
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル アルミ水切板 L=88、ステンレス製網戸、ランマ：オハレター装置付	同 左	標準金物一式 内外3方アングル 腰：アルミハネ 2.0mm		
施錠	クレセント	同 左	下枠ステンレス レバーハンドル錠		
見込・備考	70（ビル用） 断熱性H-2	同 左	70		
記号・型式	<div>1 SD</div> 片開き戸	<div>4 SD</div> フェンス及び片開き金網戸	<div>5 SD</div> 両開き戸	<div>6 SD</div> 片開き戸	<div> </div>
位置・数量	オイルポンプ室1	ごみ置場1	プロパン庫	気化室	
仕上	1.6ボンデ鋼板 ジンクロメイト下地 FE塗り	ネットフェンス VAB5型（東伸フェンス同等品） 扉 VH-G型	鋼材 亜鉛メッキ処理 FE塗り	鋼材 亜鉛メッキ処理 FE塗り	
ガラス					
金物	標準金物一式 内3方アングル 丁双ステンレス 丁番		標準金物一式 丁番	標準金物一式 丁番	
施錠	シリンダー錠		シリンダー錠	シリンダー錠	
見込・備考	120		50	50	
記号・型式	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>
位置・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
施錠					
見込・備考					
(註) AW-31及びAW-32の水切りは手テスリ取付用水切りとする			(株) 星 野 設 計 事 務 所 1級建築士 登録第171414 渡邊陽一		工事名称 ふたば東保育園外部改修工事 図面名称 現況 建具表 3
					日付 R 4 年 5 月 日 縮尺 1 : 100
					D - 48

記号・型式	<div>31 AW</div> 引き違い窓	<div>32 AW</div> 引き違い戸	<div>33 AW</div> 内倒し窓付片開き戸	<div> </div>	<div> </div>
位置・数量	乳児室1	乳児室1	玄関1		
仕上	アルミニウム アルマイト仕上（シルバー）	同 左	同 左		
ガラス	3.0 トーメイ+A12+3.0 トーメイ	同 左	ドア、ランマ：網入り磨き 6.8		
金物	標準金物一式 内4方アングル 外3方アングル アルミ水切板 L=88、ステン製網戸、ランマ：オペレーター装置付	同 左	標準金物一式 内外3方アングル 腰：アルミハネル 2.0mm		
施錠	クレセント	同 左	下枠ステンレス レバーハンドル錠		
見込・備考	70（ビル用） 断熱性H-2	同 左	70		
記号・型式	<div>1 SD</div> 片開き戸	<div>4 SD</div> フェンス及び片開き金網戸	<div>5 SD</div> 両開き戸	<div>6 SD</div> 片開き戸	<div> </div>
位置・数量	オイルポンプ室1	ごみ置場1	プロパン庫	気化室	
仕上	既存塗装仕上の改修	既存塗装仕上の改修	既存塗装仕上の改修	既存塗装仕上の改修	
ガラス		ネットフェンス 扉 改修なし			
金物	標準金物一式 内3方アングル 改修なし 丁双ステンレス 丁番 改修なし		標準金物一式 改修なし 丁番 改修なし	標準金物一式 改修なし 丁番 改修なし	
施錠	シリンダー錠 改修なし		シリンダー錠 改修なし	シリンダー錠 改修なし	
見込・備考	120 改修なし	取り外し・再取付	50 改修なし	50 改修なし	
記号・型式	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>	<div> </div>
					SD-1・4・5・6を改修 仕上塗装のみ サンダー・ケレン 錆止め 下地の上新規耐候性塗料塗り
位置・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
施錠					
見込・備考					
(註) AW-31及びAW-32の水切りは手テスリ取付用水切りとする			(株) 星 野 設 計 事 務 所		工事名称
			1 級 建 築 士 登 録 第 171414 渡 邊 陽 一		ふたば東保育園外部改修工事
					日付
					R 4 年 5 月 日
					縮尺
					1 : 100
					D - 49
					改修後 建具表 3

図面番号	意匠図	図面番号	意匠図
D - 1	図面リスト	D - 27	現況 B 階段平面・矩計詳細図
D - 2	特記仕様書（そのⅠ）	D - 28	改修後 A 階段平面・矩計詳細図
D - 3	特記仕様書（そのⅡ）	D - 29	改修後 B 階段平面・矩計詳細図
D - 4	特記仕様書（そのⅢ）	D - 30	現況 外部階段断面詳細図
D - 5	特記仕様書（そのⅣ）	D - 31	改修後 外部階段断面詳細図
D - 6	特記仕様書（そのⅤ）	D - 32	現況 プロパン庫・気化室平面・断面詳細図
D - 7	特記仕様書（そのⅥ）	D - 33	改修後 プロパン庫・気化室平面・断面詳細図
D - 8	現況 1階平面図	D - 34	現況 給食室・便所矩計図
D - 9	現況 2階平面図	D - 35	改修後 給食室・便所矩計図
D - 10	現況 屋階平面図	D - 36	現況 雪庇防止柵詳細図
D - 11	改修後 1階平面図	D - 37	改修後 雪庇防止柵詳細図
D - 12	改修後 2階平面図	D - 38	笠木・防水新規雪庇防止柵詳細図
D - 13	改修後 屋階平面図	D - 39	雪囲い詳細図
D - 14	現況 立面図 1	D - 40	外部水呑・足洗場詳細図
D - 15	現況 立面図 2	D - 41	開口部廻り詳細図
D - 16	改修後 立面図 1	D - 42	外部廻詳細図 1
D - 17	改修後 立面図 2	D - 43	外部廻詳細図 2
D - 18	現況 断面図 1	D - 44	1階建具伏図
D - 19	現況 断面図 2	D - 45	2階建具伏図
D - 20	現況 矩計図 1	D - 46	現況 建具表 1
D - 21	現況 矩計図 2	D - 47	現況 建具表 2
D - 22	現況 矩計図 3	D - 48	現況 建具表 3
D - 23	改修後 矩計図 1	D - 49	改修後 建具表 3
D - 24	改修後 矩計図 2		
D - 25	改修後 矩計図 3		
D - 26	現況 A 階段平面・矩計詳細図		

ふたば東保育園外部改修工事		令和 4 年 5 月（全 49 校）		Ⅱ 特記仕様		2 仮設工事		2 1 騒音・粉じん等の対策		3 防水改修工事		3 3 アスファルト防水		乾式保護材の材料									
仕様書				1. 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3. 特記事項の記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。		1 各章共通事項		1 1 工事実績情報 サービス(CORINS)への登録 2 概成工期 3 内部の工事期間等 ※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査 4 品質計画等 建築基準法に基づき指定する条件 ・地区の区分に応じた風速（V ₀ （m/sec）） ・ 30 ・ 32 ・地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・多雪地域の指定 積雪区分 建造示第1455号 別表（ ） 5 電気保安技術者 ※要 6 発生材の処理等 10 追加特記 7 「発生材の処理等」による。 7 特別な材料の工法 改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 8 施工数量調査の方法 目視及び打診（必要に応じて破壊）による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 9 技能士 適用工事種別 技能検定の職種 防水改修工事 ・7ｽﾌﾟﾙ防水工事作業 ○合成ﾌﾙｰﾑｼｰﾄ防水工事作業 ○塗膜防水工事作業 ○ﾌﾝｸﾞ防水工事作業 ○ 外壁改修工事 ・左官 ・ﾀｲﾙ張り ○塗装（建築塗装作業） ○樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ・ｶｯｼｰ施工 ・ｶﾞﾗｽ施工 内装改修工事 ・建築大工 ・左官 ・表装（壁装作業） ・内装仕上げ施工（ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ系床仕上げ ・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ ・鋼製下地工事） ・ﾀｲﾙ張り 塗装改修工事 ・塗装（建築塗装作業） 耐震改修工事 ・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工 ・建築板金（内外装板金作業） 環境配慮改修工事 ・防水施工（7ｽﾌﾟﾙ防水工事作業） ・ｶﾞﾗｽ施工 ・造園 ﾌﾞﾛｯｸ,ALｵﾊﾞｰﾍﾙ工事 ・ﾌﾞﾛｯｸ建築 ・ALｵﾊﾞｰﾍﾙ施工 石工事 ・石材施工（石張り施工） ・ 10 見本施工 ※実施する 11 化学物質の濃度測定 10 追加特記 8 「化学物質の濃度測定」による。 12 完成図等 ※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 ・仕上表 ・建物の保全に関する説明書（取扱説明書を含む。） ・その他監督員が指示した図面 ※完成図（A1 部 A3 部 C A Dデータ） ※竣工図（A2 観音開き製本 部・A3 縮小版観音開き製本 部・C A Dデータ） 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。 13 施工図等の取扱 14 工事完成写真 ※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1 部 15 工事施工状況写真 ※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成30年版）」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1 部 16 設備工事との取合い 10 追加特記 6 「工事区分表」による。		2 仮設工事		2 1 騒音・粉じん等の対策		2 2 仮設事務所等		2 3 仮設足場		2 4 仮設養生		2 5 仮設仮設間仕切り		2 6 仮設仮設間仕切り等の種別	
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮設間仕切り		2 7 仮設仮設間仕切り等の種別									
						2 3 仮設事務所等		2 4 仮設足場		2 5 仮設養生		2 6 仮設仮											